

# 学生の確保の見通し等を記載した書類

## 目 次

- ( 1 ) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況
  - 学生の確保の見通し .....P. 1
  - ア) 定員充足の見込み .....P. 1
  - イ) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要 .....P. 8
  - ウ) 学生納付金の設定の考え方 .....P.10
  - 学生確保に向けた具体的な取組状況 .....P.11
  
- ( 2 ) 人材需要の動向等社会の要請
  - 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） .....P.13
  - 上記 が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 .....P.13
  
- ( 3 ) 添付資料

## (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

### 学生の確保の見通し

#### ア) 定員充足の見込み

今回新たに開設するリハビリテーション学部理学療法学科・作業療法学科では、以下に挙げる理由から定員を充足できると考えている。なお、本学部は、既存の岐阜保健大学短期大学部リハビリテーション学科（理学療法学科専攻・作業療法学科専攻）を、入学定員を90名のまま変更せず、発展的に改組する形で設置する学部である。本学園では、約10年にわたりリハビリテーション学科の学生募集活動の実績があることに加え、また近年の同短期大学部の志願状況も回復、向上していることから、新たに設置するリハビリテーション学部については、定員が充足すると考えている。

#### 1) 我が国における理学療法士・作業療法士の養成状況

##### (1) 理学療法士

我が国における理学療法士の養成は1963年より開始され、当初は専門学校と短期大学での養成が中心であったが、1992年より4年制大学での養成が始まり、2000年以降に養成校数は大きく増加した。平成30年（2018年）現在、養成校は大学106校、短期大学6校、専門学校149校の合計261校となっており、入学定員数は14,051人となっている（出典「理学療法白書2018」より）。平成20年（2008年）以降も理学療法士の養成校及び養成人数は穏やかに増加の傾向があるが、進展する超高齢化社会とその対応である地域包括ケアシステムを支える医療専門職人材として、理学療法士の人材需要は大きく、またその職域や就業の場も拡大していることから、理学療法士養成校への志願者ニーズも堅調であると言える。

##### (2) 作業療法士

我が国における作業療法士の養成は理学療法士養成と同じく1963年より開始され、当初は専門学校と短期大学での養成が中心であったが、1992年より4年制大学での養成が始まり、現在に至っている。平成27年（2015年）現在、養成校は大学61校、短期大学3校、専門学校120校の合計184校となっており、入学定員数は7,372人となっており、理学療法士の養成人数の約半数となっている（出典「作業療法白書2015」より）。理学療法士養成校と同様に、作業療法士養成校も2000年以降に増加し、現在も増加の傾向にある。理学療法士と同様に、超高齢化社会の進展、高齢者数と高齢者の人口比率の上昇は不可避の事実であることから、作業療法士の職域の拡大とともに、リハビリテーション分野で就業する作業療法士の人材需要は今後も安定していると言え、それにとまなう作業療法士養成校への志願者ニーズも堅調であると言える。

#### 2) 岐阜県及び中部地区のリハビリテーション系学部学科の募集状況

令和1年度現在、中部地区（岐阜県・愛知県・三重県）のリハビリテーション系（理学療法・

作業療法)学部学科を持つ4年制大学は、9大学(うち私立大学は8大学)となっている(資料1- )。県別の内訳は、岐阜県に1大学、愛知県に7大学、三重県に1大学となっている。本学が立地する岐阜県には、中部学院大学看護リハビリテーション学部(入学定員60人)1大学しか設置されておらず、同大学は理学療法学科のみの設置であり、岐阜県内には作業療法教育を行う4年制大学の学部学科は設置されていない。現在ではますます4年制大学である高等教育(学士課程)での理学療法士、作業療法士の養成が各方面から期待されており、本学が岐阜県において理学療法学科、作業療法学科を設置することは、高校生等の志願・進学ニーズに応える点でも大きな意義があると考えられる。

(資料1- 「中部地区のリハビリテーション系私立大学の学生募集状況(理学療法・作業療法)」)

#### (1)理学療法学

理学療法学の学部学科は、中部地区の3県で9大学(国立1校・私立8校)が開設されており、私立8大学の入学定員の合計は430人である(資料1- )。平成31年度入試では、一般入試において、ほとんどの大学が3倍以上の合格倍率となっており、8大学合計の受験者数1,716人(一般入試)に対して、合格者数が344人、全体の合格倍率は5.0倍となっている。また、過去5年間の8大学合計の合格倍率も、3.5倍から5.3倍の間にて推移しており、学生募集状況は良好である。

(資料1- 「中部地区のリハビリテーション系私立大学の学生募集状況(理学療法)」)

#### (2)作業療法学

作業療法学の学部学科は、中部地区の2県で6大学(国立1校・私立5校)が開設されており、私立5大学の入学定員の合計は205人である(資料1- )。平成31年度入試では、一般入試において、ほとんどの大学が2倍以上の合格倍率となっており、5大学合計の受験者数565人(一般入試)に対して、合格者数が175人、全体の合格倍率は3.2倍となっている。また、過去5年間の5大学合計の合格倍率も、2.1倍から4.4倍の間にて推移しており、理学療法学科には及ばないものの、全体として2倍以上の倍率(一般入試)となっている。

(資料1- 「中部地区のリハビリテーション系私立大学の学生募集状況(作業療法)」)

#### 3)学生募集における本学部の立地上の優位点

前述したように、岐阜県内のリハビリテーション系学部学科は、中部学院大学の1大学(理学療法学科のみ)のみであり(令和1年度現在)、同大学は岐阜県関市に立地しており、岐阜市内や西濃地区には設置されていない。また、中部地区のリハビリテーション系大学の立地図(資料3)を見ても、リハビリテーション系学部は愛知県の中心から東部地域(豊明市、東海市、半田市、春日井市、豊橋市等)に偏っており、岐阜市(JR岐阜駅からバスで約15分)に立地予定である本学部は、地域の志願・入学ニーズに応えるものであると考えている。大学

の立地とアクセスは、学生募集においてはあくまで副次的な要素ではあるが、本学部は、立地の良さを活かした、より広域での学生募集につなげる予定である。

(資料3「中部地区のリハビリテーション系大学の立地地図」)

#### 4) 岐阜保健大学短期大学部(旧岐阜保健短期大学)での学生募集実績

本学部は、平成21年に開設された岐阜保健短期大学(現岐阜保健大学短期大学部)リハビリテーション学科(理学療法学専攻・作業療法学専攻)の教育資源を移行し、リハビリテーション学部理学療法学科、作業療法学科の1学部2学科として開設する予定であるが、過去10年間の短期大学での学生募集実績(資料3)、教育研究実績、臨地実習実績、就職実績から、地域の高校や医療機関との強固な関係性や信頼関係が構築できており、4年制大学の学部となった後も、その実績を基盤とした堅実な学生募集活動が展開できると考えている。

岐阜保健大学短期大学部リハビリテーション学科(入学定員90人)では、過去において入学定員は満たしていないものの、学生募集担当部署の大幅な増強により、平成31年度より募集状況は大きく改善し、回復基調にある。平成31年度入試では、理学療法学専攻は入学定員60人のところ、志願者数76人、合格者67人、入学者50人(入学定員超過率0.83)、作業療法学専攻は、入学定員30人のところ、志願者数36人、合格者数32人、入学者数23人(入学定員超過率0.77)となっている。また、令和2年度入試においては、理学療法学専攻では定員を充足する見込みであり、作業療法学専攻においても、志願者数、入学者数ともに前年度を上回る見込みである。

また、昨今の情勢から、短期大学と4年制大学の募集状況を比較した場合に、短期大学よりも4年制大学の方が総体的には有利と言えることに加え、日々高度化する医療保健分野を担うリハビリテーション専門職の養成を、3年課程の短期大学から4年制大学の学部改編しその教育内容を充実させることは、学生募集においてもより良好な影響を得るものと考えられる。以上の理由により、本学部においては、2倍~3倍程度の選抜を経た上での、入学定員の充足の見込みがあると考えている。

(資料3「岐阜保健大学短期大学部リハビリテーション学科の募集実績」)

#### (4年制学部としたときの学生確保の見込み)

短期大学部リハビリテーション学科理学療法学専攻の学生募集状況は、平成21年の開設以来、平成31年度までは定員を充足したことはない状況であったが、令和2年度においては志願者数(179名)、受験者数(171名)、合格者数(103名)と過年度の実績を大幅に上回り、入学者数も69名と定員(理学療法学専攻の入学定員60名)を充足した。短期大学部リハビリテーション学科作業療法学専攻の学生募集状況は、令和2年度においては入学者数も17名と定員(作業療法学専攻の入学定員30名)に対し56.7%であった。

従前は、短期大学として事務組織の規模も小さく、入試広報も2名の人員であったため十分な広報活動ができず、また広告媒体も使ってこなかったため、本学を高校や高校生に周知でき

なかった。平成 31 年度の看護学部の開設に伴い、学生募集体制並びに高等学校訪問、オープンキャンパス等の広報活動、新たに予算を投下しての大手広告媒体との契約等、大幅に見直した結果、認知度も高まり、平成 31 年度入学者から改善され、令和 2 年度は短期大学部リハビリテーション学科の入学定員 90 人に対し 86 人の入学者を得ている。令和 2 年度以降も令和元年度レベル以上の広報活動を計画・実施することで、本学部の入学定員である 90 人については定員を充足する見込みであると考えている。

#### 5) 本課程への入学意思についてのアンケート調査結果(入学意向調査)

本学部への入学ニーズを測定するため、岐阜県を中心とした中部地区の高校 2 年生(令和 1 年度)に入学意向を問うアンケート調査(8,335 人より回答)を行った(資料 4)。結果の詳細は後述するが、このアンケート調査において、高校 2 年生 395 人(4.7%)より「(本学部を)受験する」(119 人)及び「(本学部の)受験を検討する」(276 人)という結果が得られ、そのうち 178 人(2.1%)より「理学療法学科への入学を希望する」、68 人(0.8%)より「作業療法学科への入学を希望する」との回答結果が得られた。

本調査結果において、上記の「入学を希望する」の回答者は、各学科の入学定員(理学療法学科 60 人、作業療法学科 30 人)を上回る結果となっていることから、本学部の設置は、地域の高校生から期待と受験・入学意向を得ているものと考えられ、開設後の定員充足の見込みを示す結果となっている。

(資料 4「入学意向アンケート調査結果」)

#### 6) 定員未充足の学科の原因分析と対応

既設の岐阜保健大学短期大学部においては、リハビリテーション学科(理学療法学専攻、作業療法学専攻)において定員充足率が 0.59 倍(平成 31 年度現在)と 0.7 倍を下回っており、定員未充足の状態にあり、その原因分析と今後の取り組みについて、以下に記す。

#### (リハビリテーション学科の定員充足率の推移)

同学科の理学療法学専攻は平成 21 年度に開設(開設時の入学定員 80 名)、作業療法学専攻は平成 22 年度に開設(開設時の入学定員 40 名)されたが、岐阜保健短期大学の学生募集体制の脆弱さ、入試広報業務の未熟さ等の原因により、入学定員が未充足の状況が続いたため、平成 28 年度より理学療法学専攻の定員を 80 名から 60 名に、作業療法学専攻の定員を 40 名から 30 名に減員した。定員減を行ってからの入学定員充足率は、理学療法学専攻が、0.70(平成 28 年度) 0.55 0.33 0.83(平成 31 年度)、作業療法学専攻が 0.40(平成 28 年度) 0.70 0.50 0.77(平成 31 年度)で推移している(資料 3)。平成 31 年度に岐阜保健大学を開設し、看護学部を設置することに伴い、入試広報・学生募集担当部署を増強したことで、平成 31 年度からは、募集状況を大幅に回復することに成功した。令和 2 年度入試においても、理学療法学専攻については入学定員充足率を 1.2 倍程度(暫定値)、作業療法学専攻についても

前年度以上（0.67 倍程度）となる見込みであり、リハビリテーション学科としては、入学定員 90 名を充足できる見込みとなっている。

（資料 3 「岐阜保健大学短期大学部リハビリテーション学科の募集実績」）

（入学定員未充足の原因分析）

リハビリテーション学科の入学定員未充足については、多くの原因が複合的に積み重なって継続していると考えられるため、本学園では、一つ一つの原因を分析し、問題解消のための対策を実施している。理由と考えられるのは以下である。

理由 岐阜保健短期大学時代の学生募集体制の脆弱さ

旧岐阜保健短期大学は事務組織の規模が小さく、教務と学生事務に人員を集中していたため、特に学生募集と広報関係には、十分な人員を配置してこなかった。これまでの入試広報の体制は、広報部長 1 名及び広報担当者 1 名の 2 名体制で、学生募集と広報の全ての業務を行っており、人員不足が否めなかった。また大手の広告代理店や教育情報企業との契約もなく、独力で学生募集活動、広報活動を行っていたため、予算や人員が巨大な競合の 4 年制大学等に募集活動で劣る点が多くあった。平成 31 年の岐阜保健大学の開設以降は、入試広報担当部署を大幅に強化し、人員と予算の増加も行うことで、平成 31 年度からの募集状況の回復と好転に成功している。

理由 短期大学であることのデメリット

岐阜保健大学短期大学部リハビリテーション学科の競合校は、同じ分野の 3 年制の短期大学、4 年制大学、専門学校の課程であるが、ともに学校数としては 4 年制大学と専門学校が多く、学校種が短期大学であることで、高校生の認知度や志望度が低くなることが多く見受けられ、結果として短期大学である岐阜保健短期大学が選ばれないというケースがこれまで多くあった。また、広く社会一般において、短期大学への志願、入学を敬遠するという傾向が年々増しているのも不利に作用した。今回の岐阜保健大学リハビリテーション学部の開設により、短期大学部は学生募集を停止するため、この要因は全て払拭される予定である。

理由 国家試験合格率実績からの志願者と入学者の低迷

理学療法学や作業療法学のような医療専門職養成課程において、志願者が学校を選ぶ際に、最も重要視するものの一つは、国家試験の合格率である。岐阜保健大学短期大学部理学療法学専攻は平成 23 年度から、作業療法学専攻は平成 24 年度から国家試験を受験しているが、その合格率は優良な結果とはなっておらず、この点が学生募集においても不利に影響したと考えている。そのような状況認識に立ち、岐阜保健大学短期大学部では、国家試験合格者を向上させるため、課外での国家試験対策指導の充実、教員による学生への個別の指導、模擬試験の受験支援、学内の自習室の利用推奨など、万全の対策を実施しており、国家試験合格率の向上に努

めている。国家試験合格率の向上により、全学的な充足率の改善につなげる。

上記の原因分析とその解決策の検討を行った結果として、今回の岐阜保健大学リハビリテーション学部の開設（及びそれにもなう岐阜保健大学短期大学部の学生募集の停止）の決定に至っている。リハビリテーション学部の開設による、全学的な教育研究の充実、入試広報体制の強化、既存学科の国家試験合格率の向上を着実に達成することで、本学園における定員未充足の問題を全て解決する所存である。

## イ) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

上記ア)でも触れたが、令和3年に設置を予定する岐阜保健大学リハビリテーション学部(理学療法学科・作業療法学科)の学生の確保の見通しを測定するために、令和1年9月～12月にかけて「入学意向アンケート調査」を実施した(資料4)。アンケートは令和1年度の高校2年生を対象とし、調査対象の生徒に対しては、各担任教諭を通じて、本学部の設置構想の概要が記載されたアンケート用紙を配布し、ホームルームの時間にアンケートに回答を得た。岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、長野県の高校518校に調査を依頼し、62校(8,335人)から回答を得た。調査の概要と結果は以下の通りとなった。

### 【入学意向アンケート調査の概要】

調査目的	岐阜保健大学リハビリテーション学部(理学療法学科・作業療法学科)(仮称・令和3年設置予定)の学生確保の見通しを測定することを目的とする。
調査時期	令和1年9月～12月
調査対象	高校2年生(令和1年度)をアンケートの対象とした。 (本学部の開設年度である令和3年度に大学に進学する学年であるため)
調査方法	高等学校に対しアンケート調査協力の依頼状を郵送し、調査を受諾した高等学校に対し、アンケート用紙を郵送し、教員の監督のもと、学校において高校2年生を対象に調査を実施した。アンケート用紙は郵送で回収した。
実施高校	518 高等学校(岐阜県・愛知県・三重県・滋賀県・長野県)に調査を依頼し、62校より調査協力及びアンケートの返送があった。
実施人数	8,335人
調査実施	岐阜保健大学

本学部への受験意向(問6)を質問したところ、回答者8,335人のうち、119人(1.4%)が「(本学部を)受験する」、276人(3.3%)が「(本学部の)受験を検討する」と回答した(合計395人、4.7%)。

問6の「受験する」及び「受験を検討する」の回答者395人のうち、178人(全体の2.1%)が「理学療法学科への入学を希望する」、68人(全体の0.8%)が「作業療法学科への入学を希望する」と回答した。

本学部の入学定員は、理学療法学科が60人、作業療法学科が30人であり、入学定員を上回る受験意向、入学意向を得ている。



なお、問6の「受験する」のみの回答者119人のみを母集団にしたクロス集計では、「理学療法学科への入学を希望する」は77人(全体の0.9%)、「作業療法学科への入学を希望する」は15人(0.2%)の回答があった。理学療法学科については、このクロス集計でも、入学定員を上回る入学意向を得ている。

【入学意向アンケート調査の結果】(主要な設問のみ抜粋)

岐阜保健大学リハビリテーション学部への受験意向を問う質問

問6【受験意思】	番号	選択肢	回答数	構成比
岐阜保健大学リハビリテーション学部(仮称・設置構想中)が、認可され設置された場合には、受験したいと思いますか？(この場合の「受験」は、指定校制推薦入試や一般推薦入試等全ての入試を含みます)(あてはまるもの一つを選択)	(1)	受験する	119	1.4%
	(2)	受験を検討する	276	3.3%
	(3)	わからない	2,221	26.6%
	(4)	受験しない	5,505	66.0%
		無回答	214	2.6%
		計	8,335	100.0%

岐阜保健大学リハビリテーション学部への入学意向を問う質問

問6で(1)「受験する」または(2)「受験を検討する」を回答した395人のみが回答

問7【入学意思】	番号	選択肢	回答数	構成比
理学療法学科、作業療法学科のいずれかの入学試験に合格した場合、岐阜保健大学リハビリテーション学部(仮称・設置構想中)に入学したいと思いますか？(あてはまるもの一つを選択)	(1)	理学療法学科の入学を希望する	178	45.1%
	(2)	作業療法学科の入学を希望する	68	17.2%
	(3)	併願校の可否により理学療法学科を希望する	78	19.7%
	(4)	併願校の可否により作業療法学科を希望する	40	10.1%
	(5)	どちらの学科の入学も希望しない	24	6.1%
		無回答	7	1.8%
	計	395	100.0%	

#### ウ) 学生納付金の設定の考え方

本学では、入学者の学費負担の軽減を最大限に考慮しつつ、充実した教育研究を可能とし、継続的かつ安定的な大学運営が可能となる学生納付金の水準について十分な精査を行った結果、以下のように設定した。

岐阜保健大学リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科 学生納付金（諸会費等は除く）	
入学金	200,000 円
授業料等	1,450,000 円
初年度納入金	1,650,000 円
2 年目以降納入金（年額）	1,450,000 円
4 年間納入金合計	6,000,000 円

本学部が競合すると予想される、中部地区のリハビリテーション系大学の学納金（平成 31 年度入学者に適用）は資料 5 に示す通りである。中部地区（岐阜県・愛知県・三重県）には、8 校の私立大学のリハビリテーション系（理学療法及び作業療法）学部があるが、8 校の初年度納入金の平均金額は、1,752,500 円となっており、本学部の初年度納入金（165 万円）よりも 10 万円以上高い設定となっている。本学部は中部地区の私立大学の中では最も低い学納金設定となっており、学生の経済的な負担の軽減を最優先に考慮した学納金設定となっている。また、学生募集においても競争力をもった学納金設定であると考えている。

この学納金設定は、学生第一を掲げる本学の理念によるものであり、教育研究費については、施設設備、図書、専任教員の研究費などについて十分な予算を確保し、4 年制学部としての教育研究を十分に充実させていく計画である。

（資料 5 「中部地区のリハビリテーション系大学学納金」）

## 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学の学生募集については、以下の具体的計画で実施する予定である。

### (学生募集・広報の方針)

平成 21 年開設の岐阜保健大学短期大学部リハビリテーション学科で培われた、10 年以上のリハビリテーション関係の学生募集の実績、高校や高校教員との強固な関係性をベースとして、それを発展させる形で学生募集体制と活動を展開し、新たに設置する岐阜保健大学リハビリテーション学部の学生募集を実施する。本学部では、高校内での説明会、合同進学ガイダンス、高校訪問、オープンキャンパスを学生募集の中核活動と位置づけ、高校生や保護者と実際に会うことでの Face to Face での直接的な説明とコミュニケーションを重視した募集活動を行う。医療系専門職を養成する本学部にとっては、高校生、保護者、高校教員との直接の接触、コミュニケーションが最も重要であるという観点から、上記の説明会やオープンキャンパスは、実施回数を多めに設定する予定である。

### (具体的な学生募集施策)

#### [1]高校訪問

岐阜県内の全高校と県内予備校、周辺県である愛知県・三重県・滋賀県・長野県の重点高校を年間計画を立てて訪問し、本学部の開設計画の説明を行うことで、広報を展開する。本学部の認可より以前は、学生募集活動は一切実施せず、リハビリテーション学部についての広報業務のみを実施する。

#### [2]オープンキャンパス

オープンキャンパスを行い、その中で大学説明、入試説明、施設見学などを行う。年 9 回の実施を予定している。学生募集の中核的なイベントと位置づける。

#### [3]高校教員対象の進学説明会

現在、高校教員向けの説明会を年間 1 回実施しており、本学部についても同様に説明会を開催する。また、高校 1 年生、2 年生向け講座として「高校生のための医療職キャリアデザイン講座 ～医療多職種を理解する」(仮称)の開催を計画している。入学前に看護師・理学療法士・作業療法士としての資質と明確な意思を有した人材を確保することを目的に令和 2 年度に開催(8 月と 11 月の年 2 回)する予定である。

#### [4]進学ガイダンス

外部業者の合同進学ガイダンス、高校での進学ガイダンスを適宜参加、実施する。

#### [5]その他の広報活動

上記の活動以外に、以下のマス媒体への露出を行い、新設学部である本学部の周知を図る。

- ・ポスター、大学案内パンフレット、本学ホームページ、大学紹介動画
- ・受験情報雑誌、受験関連インターネット情報サイト等への掲載
- ・大規模受験相談会への出展

・新聞広告、広告看板掲示

上記の[1]から[5]の活動について、緻密な獲得数値目標を設定し、本学部の周知と志願者の獲得を図る。なお、本学部の学生募集活動は、学部の設置が認可されたあとに初めて可能となるため、それまでは学生募集活動は行わず、開設予定学部としての広報・PR活動のみを行う。また、その内容が構想中または認可申請中であり、公開する内容は全て予定であり認可を受けるまでは変更があり得るという点を明記しての広報活動を徹底する。

(定員未充足(0.7倍未満)の学科の取り組み状況)

岐阜保健大学短期大学部リハビリテーション学科(理学療法学専攻、作業療法学専攻)(入学定員90人)は、前述したように、平均入学定員充足率が0.7倍未満となっている。短期大学の同学科は、本学部の開設と同時に学生募集を停止する予定であるが、本学では、同学科の入学定員を充足することを最優先課題とし、上述した施策に基づき、学生募集活動を展開している。

具体的には、令和1年度の短期大学部リハビリテーション学科の学生募集の取り組みは以下のように実施している。高校訪問については、岐阜県の全高校及び、愛知県・三重県・滋賀県・長野県の重点訪問高校を年間計画に沿って訪問している。オープンキャンパスについては、令和1年度において9回開催している。他にも、高校生向けの説明会、外部業者主催の合同進学ガイダンス、高校での進学ガイダンスを開催するなど、学生募集活動の改善に努めたことで、令和2年度の入試においては、短期大学部同学科の入学定員90人を充足する見込みである。

## (2) 人材需要の動向等社会の要請

### 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

#### (リハビリテーション学部の教育研究上の目的)

理学療法、作業療法の専門的知識と技術、態度を備え、生命の尊厳を基盤とした倫理観と心豊かな人間性を身につけ、地域の保健・医療・福祉の向上に貢献することのできる高い資質と実践能力を持ったリハビリテーション専門職を養成することを教育研究上の目的とする。

#### (理学療法学科の教育研究上の目的)

理学療法の専門的知識と技術、態度を備え、生命の尊厳を基盤とした倫理観と心豊かな人間性を身につけ、地域の保健・医療・福祉の向上に貢献することのできる高い資質と実践能力を持った理学療法士を養成することを教育研究上の目的とする。

#### (作業療法学科の教育研究上の目的)

作業療法の専門的知識と技術、態度を備え、生命の尊厳を基盤とした倫理観と心豊かな人間性を身につけ、地域の保健・医療・福祉の向上に貢献することのできる高い資質と実践能力を持った作業療法士を養成することを教育研究上の目的とする。

上記 が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

### 1) 理学療法士・作業療法士を取り巻く状況

#### (理学療法士の就業状況)

理学療法士数は平成 28 年 1 月現在で 129,942 人であり、現在は毎年約 1 万人の理学療法士が供給されている(出典:日本理学療法士協会)。理学療法士が求められる職域は幅広く、医療分野(約 80%)を中心に、介護・福祉・教育・行政等の分野で就業している。医療においては、予防・高度急性期・急性期・回復期・生活期の全ての期間において、多様なリハビリテーションの役割を担っている。高齢化社会が進む我が国の社会において、特に高齢者を対象とした理学療法士の人材需要は今後も高まると考えられる。

#### (作業療法士の就業状況)

作業療法士数(有資格者数)は平成 27 年現在で 74,815 人であり、毎年約 4,000 人の作業療法士が供給されている(出典:作業療法白書 2015)。就業場所は医療施設(病院・診療所等)が最も多く 75.6%(勤務者比・2015 年度)であり、他に老人福祉施設(4.0%)、介護施設(11.6%)等が就業施設となっている。身体や精神の障がい、作業を通じて社会的適応能力を回復させる作業療法士は、リハビリテーションの一方の側面を担う医療専門職であり、理学療法士と同

様に、高齢化社会が進む我が国の社会において、特に高齢者を対象とした作業療法士の人材需要は今後も高まると考えられる。

## 2) 地域包括ケアシステムにおける理学療法士・作業療法士の人材需要

厚生労働省「医療介護総合確保推進法に関する全国会議」によると、団塊の世代が75歳以上となる令和7年(2025年)には、国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上となり、慢性疾患・複数の疾病を抱える人だけでなく、その後のリハビリテーションも必要となる人、さらに自宅で暮らしながら医療やリハビリテーションを受ける人、疾病や障がいを抱えながら生活する人が増加することが予想されていることから、持続可能な社会保障制度の確立を図るため、効率のかつ質の高い医療提供体制とともに、地域における医療及び介護の総合的な整備が進められている。高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的とした、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築が推進される中で、理学療法士及び作業療法士は、多様なニーズに対応し、必要なりハビリテーションサービスを提供する医療専門職としての役割を期待されている。地域医療をリハビリテーションの側面において担う理学療法士及び作業療法士に期待される役割は大きく、その人材需要と社会的ニーズは今後も高まっていくと考えられる。

## 3) 理学療法士・作業療法士の需給推計

厚生労働省の「医療従事者の需給に関する検討会 理学療法士・作業療法士需給分科会」において、理学療法士及び作業療法士の将来の供給数、需要数の推計がなされている(資料6)。理学療法士及び作業療法士の人材需要の推計は、医療分野(一般病床・療養病床・精神病床)(外来医療・在宅医療)、介護分野(施設・居住系・在宅サービス)、その他分野(行政・教育・福祉分野)3分野で算出され、2040年において、最も多い場合が37.5万人弱、最も少ない場合が約28万人と推計されている。一方で、2040年における理学療法士・作業療法士の供給数の推計は、理学療法士が約30万人、作業療法士が15万人と、合わせて45万人とされている。この結果、2040年においては、理学療法士・作業療法士の供給数が需要数の1.2倍から1.5倍多くなる(供給過多)ことが推計されているが、一方で、2026年頃までは、需要推計(最も多いケース)が供給推計を上回っていることも示されており、近い将来においては、理学療法士及び作業療法士の人材需要が依然として堅調に持続するという見方もできる。また、同検討会において、「近年、学校養成施設数とその定員は増加し続けてきているが、養成施設出身者の国家試験合格率が低下傾向にある等、養成の質の低下を指摘する意見がある」と記載されており、質の高い理学療法士・作業療法士の養成が求められていることが示されている。

上記の厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会理学療法士・作業療法士分科会(2019年4月5日)報告書」で示された「2040年頃には供給数が需要数の約1.5倍となる」という結論に対する、理学療法士及び作業療法士の人材需要についての本学部の設置の意義は以下の通りである。

一つは、リハビリテーション及び保健医療における地域格差の是正である。医療従事者の都心部への流出は我が国の大きな課題であり、地域の養成校に通う学生が、その地域に医療専門職として就職することは、地域の保健医療にとり重要である。本学が位置する岐阜県は、医療従事者の流出が課題となっている県であり、岐阜県の地域医療計画の実現のため、本学部の設置による理学療法士、作業療法士の養成と供給は有意義であると言える。岐阜県全体における理学療法士、作業療法士は、全て人口 10 万人当たりで全国平均を下回っている。（岐阜県医療計画による）

二つは、教育の質の向上である。高齢者及び認知症者増加による先駆的な医療・介護・予防・生活支援・住まい等多様化・複雑化する 2025 年の地域包括ケアシステムの構築と今後の超高齢化社会、人口減少の局面に向けて、一人一人の理学療法士、作業療法士がいかに効率的に質の高い働きをするかは、一重に養成施設における教育の質の向上にかかっていると見える。短期大学から 4 年制大学にする意義は、リハビリテーション教育の質の向上にある。

三つめは、リハビリテーション専門職の需要の拡大である。これまでも特に理学療法士においては、その活動領域は大きく拡大してきている。具体的には教育分野等での需要拡大の可能性がある。我が国は 2040 年には最多の死者数となり、生活支援ニーズに対等する地域包括ケアシステムの構築が求められていることから、看護師・介護福祉士に理学療法士や作業療法士が参加する、終末期リハビリテーション、看取り分野への進出と人材需要の拡大も可能性として考えられる。

（資料 6 「理学療法士・作業療法士の長期的な需給推計」）

#### 4) 岐阜県における理学療法士・作業療法士の人材需要

（岐阜県の将来人口推計と医療需要）

岐阜県地域医療構想（平成 28 年 7 月）によると、岐阜県の人口推計は、平成 22 年（2010 年）の 208 万 773 人（100%）から、令和 7 年（2025 年）には 190 万 7818 人（91.7%）、令和 17 年（2035 年）には 174 万 6339 人（83.9%）に減少することが予想されている。一方で、65 歳以上の老年人口は、平成 22 年の 50 万 1791 人（100%）から、令和 7 年には 59 万 7834 人（119.1%）、令和 17 年には 59 万 387 人（117.7%）となり、高齢者及び後期高齢者人口は、令和 12 年（2030 年）頃まで増加することが予想されている。高齢者人口の更なる増加や医療の高度化・専門化、患者を取り巻く社会環境の変化等に伴い、医療需要の一層の増加が見込まれる中で、岐阜県では、リハビリテーション専門職を含めた保健医療を担う人材の養成・確保と質の向上を図ることとしている。

（岐阜県地域医療構想）

岐阜県では、保健・医療の充実に向け、平成 30 年度から令和 5 年度の 6 年間を対象とした「第 7 期岐阜県保健医療計画」が策定されているが、その第 4 章第 5 節「その他の保健医療従事者」において「県民の医療に対する要望に応えるため、人材育成に係る各機関と連携し、

職種ごとに不足する分野の従事者の養成及び確保に努める」とあり、さらに「地域包括ケアシステムの重要な要素となる医療・介護連携、認知症対策、地域ケア会議、生活支援、介護予防のいずれの分野も、リハビリテーション専門職が関わる分野であることから、多職種と積極的な連携はもとより、質の高い医療・介護サービス提供に向け、市町村とも積極的に関わっていくことが求められている。地域在宅医療・介護の知識を習得し、地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション専門職として求められる技術や地域在宅医療・介護の知識を備えた人材が必要になってくる」と記載されている。

（岐阜県における理学療法士の人材需要）

上記計画の同章において、「岐阜県内の病院で従事する理学療法士数（常勤換算）は、893.0人（平成27年10月）で、人口10万人当たりの従事者数は43.9人であり、岐阜圏域を除く4圏域（西濃・中濃・東濃・飛騨）は、全国平均（55.5人/10万人）を下回っている」とされており、全国平均なみの理学療法士の配置が求められている。

（岐阜県における作業療法士の人材需要）

高齢化が全国に先んじて進展している岐阜県における作業療法士の必要性については、前述した理学療法士の状況と同様であるが、先に引用した「第7期岐阜県保健医療計画」の第5節「その他の保健医療従事者」において、「岐阜県内の病院で従事する作業療法士数（常勤換算）は、435.9人（平成27年10月）で、人口10万人当たりの従事者数は21.5人であり、岐阜県の全ての圏域（岐阜・西濃・中濃・東濃・飛騨）で、全国平均（32.6人/10万人）を下回っている」となっており、作業療法士の配置が求められている。（出典は全て「第7期岐阜県保健医療計画」）

#### 5）岐阜保健大学短期大学部リハビリテーション学科における就職実績

岐阜保健大学短期大学部リハビリテーション学科では、平成21年より理学療法士の養成を、平成22年より作業療法士の養成を行っており、平成31年3月までにおいて、理学療法学専攻において8期生（251人）、作業療法学専攻において7期生（71人）の卒業生を輩出している。卒業生の多くは、理学療法士及び作業療法士として地域の医療機関等に就職しており、有資格者については就職率もほぼ100%と良好な状況となっている。本学部の卒業生が出るのは、令和7年3月以降であるが、短期大学部リハビリテーション学科での就職実績を通じて、地域の医療機関や福祉施設とは強い信頼関係が醸成されており、本学部の卒業生についても、円滑な就職が可能になると考えている。

#### 6）採用意向アンケート調査で示された本学部卒業生の人材需要

本学部の人材需要の見通しを測定するため、令和1年9月～10月に、岐阜県を中心とする近隣の病院、介護老人保健施設、訪問リハビリテーション等の745の事業所を依頼対象として、



本学部の卒業予定者の採用意向アンケート調査を実施し、190 事業所から回答を得た（回収率 25.5%）。調査結果の詳細は、別添資料として添付した（資料 7）。

本調査において、本学部の卒業生（令和 7 年に一期生が卒業予定）の採用意向を質問したところ、卒業生を「理学療法士として採用したい」（理学療法学科）の回答が 99 件（回答事業所全体の 52.1%）、「作業療法士として採用したい」（作業療法学科）の回答が 88 件（回答事業所全体の 46.3%）となった。「採用したい」の回答事業所に「採用可能人数」を質問したところ、「採用可能人数」の合計が、それぞれ 165 人（理学療法学科）、149 人（作業療法学科）となった。本学部の入学定員は理学療法学科が 60 名、作業療法学科が 30 名であり、両学科の入学定員を十分に上回る採用需要があることが、本調査にて示された。地域の医療機関を中心とした調査対象先から、非常に高い割合で採用意向を得ることができたのは、本学が約 10 年に渡り、短期大学部において理学療法士と作業療法士の養成を行い、地域の医療に貢献してきた実績によるものであると自負している。本調査結果により、岐阜県を中心とする地域の医療施設等における、本学部の卒業予定者に対する理学療法士および作業療法士としての採用意向が示されたと言える。

（資料 7 「採用意向アンケート調査報告書」）

【採用意向アンケート調査の概要】

調査の目的	岐阜保健大学リハビリテーション学部（仮称・設置構想中）の卒業生の採用意向のニーズをアンケートにより計測した。
調査期間	令和1年9月～10月
調査方法	郵送
調査対象 （依頼先）	病院：568事業所（岐阜県・愛知県・三重県・静岡県） 介護老人保健施設等：77事業所（岐阜県） 整形外科診療所：50事業所（岐阜県） 訪問リハビリテーション事業所：50事業所（岐阜県） 合計745事業所に調査を依頼した。
有効回答件数	190件（回収率：25.5%）
調査実施主体	岐阜保健大学

【採用意向アンケート調査の結果】（主要な設問のみ抜粋）

理学療法学科卒業生の採用意向（理学療法士）

問5	番号	選択肢	回答数	構成比
岐阜保健大学リハビリテーション学部理学療法学科（仮称・設置構想中）で学んだ学生を理学療法士として採用したいと思われませんか。（あてはまるもの一つに）	(1)	採用したい	99	52.1%
	(2)	採用したいと思わない	1	0.5%
	(3)	わからない	59	31.1%
	(4)	理学療法士の採用は行っていない	31	16.3%
		無回答	0	0.0%
		計	190	100.0%

作業療法学科卒業生の採用意向（作業療法士）

問5	番号	選択肢	回答数	構成比
岐阜保健大学リハビリテーション学部作業療法学科（仮称・設置構想中）で学んだ学生を作業療法士として採用したいと思われませんか。（あてはまるもの一つに）	(1)	採用したい	88	46.3%
	(2)	採用したいと思わない	1	0.5%
	(3)	わからない	56	29.5%
	(4)	作業療法士の採用は行っていない	44	23.2%
		無回答	1	0.5%
		計	190	100.0%

以上の人材需要についての重層的な考察と独自のアンケート調査の結果により、本学部で養成するリハビリテーション職（理学療法士、作業療法士）の人材需要及び採用意向は、病院等の医療機関を中心として、十分に存在することが示された。

以上

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### ( 3 ) 添付資料

- 資料 1 中部地区のリハビリテーション系私立大学の学生募集状況(理学療法・作業療法)  
中部地区のリハビリテーション系私立大学の学生募集状況(理学療法)  
中部地区のリハビリテーション系私立大学の学生募集状況(作業療法)
- 資料 2 中部地区のリハビリテーション系大学の立地地図
- 資料 3 岐阜保健大学短期大学部リハビリテーション学科の学生募集実績
- 資料 4 入学意向アンケート調査報告書
- 資料 5 中部地区のリハビリテーション系大学の学納金
- 資料 6 理学療法士・作業療法士の長期的な需給推計
- 資料 7 採用意向アンケート調査報告書

(資料1 - ) 中部地区のリハビリテーション系私立大学の学生募集状況 (理学療法・作業療法)

No.	県	大学	学部	学科	入学定員	入試種別	平成31年(2019年)				平成30年(2018年)				平成29年(2017年)				平成28年(2016年)				平成27年(2015年)				
							志願者数	受験者数	合格者数	合格倍率	志願者数	受験者数	合格者数	合格倍率	志願者数	受験者数	合格者数	合格倍率	志願者数	受験者数	合格者数	合格倍率	志願者数	受験者数	合格者数	合格倍率	
1	岐阜県	中部学院大学	看護リハビリテーション学部	理学療法学科	60	一般	121	112	35	3.2	118	108	54	2.0	89	86	82	1.0	117	115	81	1.4	105	104	63	1.7	
2		藤田医科大学	保健衛生学部 リハビリテーション学科	理学療法専攻	115	70	一般	225	223	83	2.7	217	216	55	3.9	211	211	58	3.6	219	216	67	3.2	193	190	69	2.8
				作業療法専攻		45	一般	116	116	62	1.9	99	99	35	2.8	87	87	50	1.7	94	94	51	1.8	116	115	55	2.1
3		名古屋学院大学	リハビリテーション学部	理学療法学科	80	一般	502	475	43	11.0	413	406	53	7.7	290	278	88	3.2	397	393	115	3.4	302	293	110	2.7	
4	愛知県	中部大学	生命健康科学部	理学療法学科	80	40	一般前期 A日程	114	105	6	17.5	122	122	12	10.2	112	110	13	8.5	115	112	10	11.2	109	108	11	9.8
				作業療法学科		40	一般前期 A日程	42	41	13	3.2	50	50	13	3.8	65	65	18	3.6	42	41	12	3.4	46	46	23	2.0
5		日本福祉大学	健康科学部 リハビリテーション学科	理学療法専攻	80	40	一般	447	407	51	8.0	507	473	34	13.9	404	373	84	4.4	447	437	78	5.6	381	378	47	8.0
				作業療法専攻		40	一般	269	250	36	6.9	304	283	33	8.6	180	168	80	2.1	208	203	87	2.3	232	231	59	3.9
6		星城大学	リハビリテーション学部 リハビリテーション学科	理学療法専攻	80	40	一般	196	190	51	3.7	76	76	14	5.4	167	166	63	2.6	215	209	53	3.9	190	185	47	3.9
				作業療法専攻		40	一般	123	117	43	2.7	57	57	31	1.8	111	110	59	1.9	127	123	49	2.5	164	162	47	3.4
7		豊橋創造大学	保健医療学部	理学療法学科	60	一般	103	100	46	2.2	99	97	42	2.3	94	92	47	2.0	129	125	60	2.1	153	151	73	2.1	
8	三重県	鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部 リハビリテーション学科	理学療法	80	40	一般	107	104	29	3.6	137	133	42	3.2	118	115	41	2.8	131	129	31	4.2	156	153	26	5.9
				作業療法		40	一般	42	41	21	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

出典：旺文社「蛍雪時代」

(資料1 - ) 中部地区のリハビリテーション系私立大学の学生募集状況(理学療法)

No.	県	大学	学部	学科	入学定員	入試種別	平成31年(2019年)				平成30年(2018年)				平成29年(2017年)				平成28年(2016年)				平成27年(2015年)			
							志願者数	受験者数	合格者数	合格倍率	志願者数	受験者数	合格者数	合格倍率	志願者数	受験者数	合格者数	合格倍率	志願者数	受験者数	合格者数	合格倍率	志願者数	受験者数	合格者数	合格倍率
1	岐阜県	中部学院大学	看護リハビリテーション学部	理学療法学科	60	一般	121	112	35	3.2	118	108	54	2.0	89	86	82	1.0	117	115	81	1.4	105	104	63	1.7
2	愛知県	藤田医科大学	保健衛生学部リハビリテーション学科	理学療法専攻	70	一般	225	223	83	2.7	217	216	55	3.9	211	211	58	3.6	219	216	67	3.2	193	190	69	2.8
3		名古屋学院大学	リハビリテーション学部	理学療法学科	80	一般	502	475	43	11.0	413	406	53	7.7	290	278	88	3.2	397	393	115	3.4	302	293	110	2.7
4		中部大学	生命健康科学部	理学療法学科	40	一般前期A日程	114	105	6	17.5	122	122	12	10.2	112	110	13	8.5	115	112	10	11.2	109	108	11	9.8
5		日本福祉大学	健康科学部リハビリテーション学科	理学療法専攻	40	一般	447	407	51	8.0	507	473	34	13.9	404	373	84	4.4	447	437	78	5.6	381	378	47	8.0
6		星城大学	リハビリテーション学部リハビリテーション学科	理学療法専攻	40	一般	196	190	51	3.7	76	76	14	5.4	167	166	63	2.6	215	209	53	3.9	190	185	47	3.9
7	豊橋創造大学	保健医療学部	理学療法学科	60	一般	103	100	46	2.2	99	97	42	2.3	94	92	47	2.0	129	125	60	2.1	153	151	73	2.1	
8	三重県	鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部リハビリテーション学科	理学療法学科	40	一般	107	104	29	3.6	137	133	42	3.2	118	115	41	2.8	131	129	31	4.2	156	153	26	5.9
合計					430		1,815	1,716	344	5.0	1,689	1,631	306	5.3	1,485	1,431	476	3.0	1,770	1,736	495	3.5	1,589	1,562	446	3.5

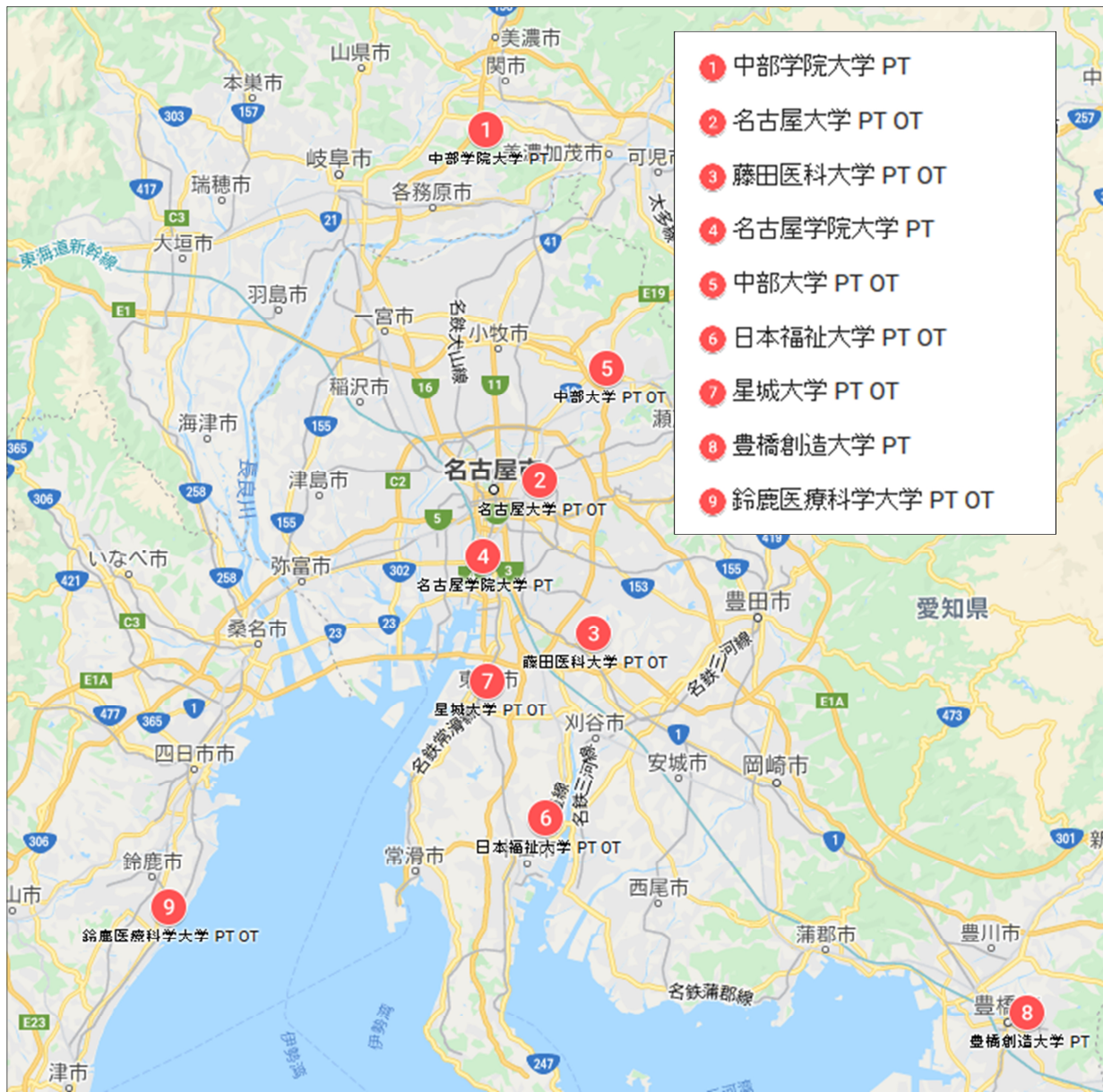
出典：旺文社「蛍雪時代」

(資料1 - ) 中部地区のリハビリテーション系私立大学の学生募集状況(作業療法)

	県	大学	学部	学科	入学定員	入試種別	平成31年(2019年)				平成30年(2018年)				平成29年(2017年)				平成28年(2016年)				平成27年(2015年)			
							志願者数	受験者数	合格者数	合格倍率	志願者数	受験者数	合格者数	合格倍率	志願者数	受験者数	合格者数	合格倍率	志願者数	受験者数	合格者数	合格倍率	志願者数	受験者数	合格者数	合格倍率
1	愛知県	藤田医科大学	保健衛生学部 リハビリテーション学科	作業療法学専攻	45	一般	116	116	62	1.9	99	99	35	2.8	87	87	50	1.7	94	94	51	1.8	116	115	55	2.1
2		中部大学	生命健康科学部	作業療法学科	40	一般前期 A日程	42	41	13	3.2	50	50	13	3.8	65	65	18	3.6	42	41	12	3.4	46	46	23	2.0
3		日本福祉大学	健康科学部 リハビリテーション学科	作業療法学専攻	40	一般	269	250	36	6.9	304	283	33	8.6	180	168	80	2.1	208	203	87	2.3	232	231	59	3.9
4		星城大学	リハビリテーション学部 リハビリテーション学科	作業療法学専攻	40	一般	123	117	43	2.7	57	57	31	1.8	111	110	59	1.9	127	123	49	2.5	164	162	47	3.4
5	三重県	鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部 リハビリテーション学科	作業療法学	40	一般	42	41	21	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
合計					205		592	565	175	3.2	510	489	112	4.4	443	430	207	2.1	471	461	199	2.3	558	554	184	3.0

出典：旺文社「蛭雪時代」

(資料2) 中部地区のリハビリテーション系大学の立地地図



	県	大学	学部	学科	専攻	定員
1	岐阜県	中部学院大学	看護リハビリテーション学部	理学療法学科	理学療法学科	60
2	愛知県	名古屋大学	医学部	保健学科	理学療法学専攻	20
					作業療法学専攻	20
3		藤田医科大学	保健衛生学部	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	70
					作業療法学専攻	45
4		名古屋学院大学	リハビリテーション学部	理学療法学科		80
5		中部大学	生命健康学部	理学療法学科	40	
				作業療法学科	40	
6		日本福祉大学	健康科学部	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	40
					作業療法学専攻	40
7	星城大学	リハビリテーション学部	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	40	
				作業療法学専攻	40	
8	豊橋創造大学	保健医療学部	理学療法学科		60	
9	三重県	鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	40
					作業療法学専攻	40

(資料3) 岐阜保健大学短期大学部(旧岐阜保健短期大学)リハビリテーション学科の学生募集実績

(1) 岐阜保健大学短期大学部リハビリテーション学科理学療法学専攻

年度	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	志願倍率	入学定員 超過率
平成31年度	60	76	68	67	50	1.13	0.83
平成30年度	60	28	26	26	20	1.08	0.33
平成29年度	60	40	39	37	33	1.08	0.55
平成28年度	60	48	46	46	42	1.04	0.70
平成27年度	80	64	60	59	44	1.08	0.55
平成26年度	80	53	50	50	37	1.06	0.46
平成25年度	80	37	37	36	25	1.03	0.31
平成24年度	80	68	67	66	56	1.03	0.70
平成23年度	80	67	67	67	56	1.00	0.70
平成22年度	80	79	75	75	67	1.05	0.84
平成21年度	80	60	58	58	49	1.03	0.61

(2) 岐阜保健大学短期大学部リハビリテーション学科作業療法学専攻

年度	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	志願倍率	入学定員 超過率
平成31年度	30	36	33	32	23	1.13	0.77
平成30年度	30	18	18	18	15	1.00	0.50
平成29年度	30	28	28	25	21	1.12	0.70
平成28年度	30	16	15	15	12	1.07	0.40
平成27年度	40	21	21	19	15	1.11	0.38
平成26年度	40	26	25	25	21	1.04	0.53
平成25年度	40	13	12	12	11	1.08	0.28
平成24年度	40	22	22	22	15	1.00	0.38
平成23年度	40	23	22	22	21	1.05	0.53
平成22年度	40	18	18	17	14	1.06	0.35



岐阜保健大学リハビリテーション学部  
理学療法学科・作業療法学科  
( 仮称・令和 3 年 4 月開設予定・設置構想中 )

入学意向アンケート調査  
報告書

令和 1 年 12 月 31 日

## 1 . 入学意向アンケート調査の概要

調 査 の 目 的	岐阜保健大学リハビリテーション学部(仮称・令和3年4月開設に向け設置構想中・入学定員90人を予定)の志願・入学意向のニーズを、高等学校2年生へのアンケートを用いて計測した。
調 査 期 間	令和1年9月～令和1年12月
調 査 方 法	高等学校に対しアンケート調査協力の依頼状を郵送し、調査を受諾した高等学校に対し、アンケート用紙を郵送し、教員の監督のもと、学校において高校2年生を対象に調査を実施した。アンケート用紙は郵送で回収した。
調 査 対 象 ( 依 頼 先 )	518 高等学校(岐阜県・愛知県・三重県・滋賀県・長野県)に調査を依頼し、62校(8,335人)より調査協力及びアンケートの返送があった。 アンケート調査は、本学部が開設を予定している令和3年4月に大学に進学する高校2年生(令和1年度)を対象とした。 (調査高校一覧は資料として添付)
調 査 内 容 ( 主 な 質 問 項 目 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者の居住地</li> <li>・卒業後の希望進路</li> <li>・リハビリテーション分野への興味</li> <li>・岐阜保健大学リハビリテーション学部への受験意向及び入学意向</li> </ul>
有 効 回 答 件 数	8,335 件
調 査 実 施 主 体	岐阜保健大学

## 2. 入学意向アンケート調査の結果

問1【居住地】	番号	選択肢	回答数	構成比
あなたの居住地を教えてください。(あてはまるもの一つを選択)	(1)	岐阜県	4,873	58.5%
	(2)	愛知県	1,643	19.7%
	(3)	三重県	523	6.3%
	(4)	静岡県	8	0.1%
	(5)	滋賀県	876	10.5%
	(6)	その他	404	4.8%
		無回答	8	0.1%
	計	8,335	100.0%	

問2【卒業後の進路】	番号	選択肢	回答数	構成比
高校卒業後の希望進路について教えてください。(第一志望を一つだけ選択)	(1)	国公立4年制大学	1,496	17.9%
	(2)	私立4年制大学	2,317	27.8%
	(3)	専門職大学	251	3.0%
	(4)	短期大学	541	6.5%
	(5)	専門学校	1,317	15.8%
	(6)	就職	1,322	15.9%
	(7)	その他(留学等)	37	0.4%
	(8)	未定	1,040	12.5%
		無回答	14	0.2%
	計	8,335	100.0%	

問3【志望分野】	番号	選択肢	回答数	構成比
進学先としてリハビリテーション分野に興味はありますか?(あてはまるもの一つを選択)	(1)	興味がある	574	6.9%
	(2)	やや興味がある	1,134	13.6%
	(3)	どちらとも言えない	2,085	25.0%
	(4)	興味はない	4,503	54.0%
		無回答	39	0.5%
	計	8,335	100.0%	

問4【理学療法士、作業療法士の認知度】	番号	選択肢	回答数	構成比
理学療法士、作業療法士についてあなたが知っている内容をお答えください。(あてはまるもの全てを選択)	(1)	理学療法士、作業療法士は医療の専門職で国家資格である。	4,115	49.4%
	(2)	理学療法士、作業療法士の国家試験を受験するためには、定められた養成校で学び必要な知識・技術を身につける必要がある。	2,676	32.1%
	(3)	理学療法士、作業療法士の養成には、4年制大学、3年制短期大学、専門職大学、専門学校等がある。	1,767	21.2%
	(4)	理学療法士、作業療法士は医療機関(病院・診療所)、福祉施設(老人施設・特別養護施設)、校務(学校・保育所等)、民間企業(健康管理等)など幅広い領域の業務で活躍している。	2,688	32.2%
		無回答	849	10.2%
	計	8,335	100.0%	

問5【興味】	番号	選択肢	回答数	構成比
将来理学療法士、作業療法士として働くことに興味はありますか?(あてはまるもの一つを選択)	(1)	興味がある	403	4.8%
	(2)	やや興味がある	856	10.3%
	(3)	どちらとも言えない	1,907	22.9%
	(4)	興味はない	5,099	61.2%
		無回答	70	0.8%
	計	8,335	100.0%	

## (資料4)

問6【受験意思】	番号	選択肢	回答数	構成比
後頁のような特色を備えた岐阜保健大学 リハビリテーション学部(仮称・設置構想中)が、認可され設置された場合には、受験したいと思いませんか？(この場合の「受験」は、指定校制推薦入試や一般推薦入試等全ての入試を含みます)(あてはまるもの一つを選択)	(1)	受験する	119	1.4%
	(2)	受験を検討する	276	3.3%
	(3)	わからない	2,221	26.6%
	(4)	受験しない	5,505	66.0%
		無回答	214	2.6%
		計	8,335	100.0%

問7【入学意思】	番号	選択肢	回答数	構成比
(問6で(1)「受験する」または(2)「受験を検討する」を回答した方のみ回答) 理学療法学科、作業療法学科のいずれかの入学試験に合格した場合、岐阜保健大学 リハビリテーション学部(仮称・設置構想中)に入学したいと思いませんか？(あてはまるもの一つを選択)	(1)	理学療法学科の入学を希望する	178	45.1%
	(2)	作業療法学科の入学を希望する	68	17.2%
	(3)	併願校の可否により理学療法学科を希望する	78	19.7%
	(4)	併願校の可否により作業療法学科を希望する	40	10.1%
	(5)	どちらの学科の入学も希望しない	24	6.1%
		無回答	7	1.8%
	計	395	100.0%	

【クロス集計】問6で(1)「岐阜保健大学リハビリテーション学部を受験する」を選択した人の問7「入学意向」の回答分布	番号	選択肢	回答数	構成比
	(1)	理学療法学科の入学を希望する	77	19.5%
	(2)	作業療法学科の入学を希望する	15	3.8%
	(3)	併願校の可否により理学療法学科を希望する	8	2.0%
	(4)	併願校の可否により作業療法学科を希望する	9	2.3%
	(5)	どちらの学科の入学も希望しない	9	2.3%
		無回答	1	0.3%
	計	119	30.1%	

【クロス集計】問6で(2)「岐阜保健大学リハビリテーション学部の受験を検討する」を選択した人の問7「入学意向」の回答	番号	選択肢	回答数	構成比
	(1)	理学療法学科の入学を希望する	101	25.6%
	(2)	作業療法学科の入学を希望する	53	13.4%
	(3)	併願校の可否により理学療法学科を希望する	70	17.7%
	(4)	併願校の可否により作業療法学科を希望する	31	7.8%
	(5)	どちらの学科の入学も希望しない	15	3.8%
		無回答	6	1.5%
	計	276	69.9%	

問8 (問6で(1)または(2)を回答した方のみ回答) 【併願先】併願先として検討中の進路をお答えください。(もっともよくあてはまるもの一つを選択)	番号	選択肢	回答数	構成比
	(1)	国公立4年制大学の医療系学部	94	23.8%
	(2)	私立4年制大学の医療系学部	123	31.1%
	(3)	専門職大学の医療系学部	39	9.9%
	(4)	短期大学(3年制)の医療系学科	35	8.9%
	(5)	医療系専門学校	41	10.4%
	(6)	その他	38	9.6%
		無回答	25	6.3%
	計	395	100.0%	

問9 ( 問6で(1)または(2)を回答した方のみ回答) 【競合校】岐阜保健大学 リハビリテーション学部(仮称・設置構想中)以外に、進学を検討している学校があれば教えてください。(あてはまるもの全てを選択)	番号	選択肢	回答数	構成比	
	(岐阜県・全て医療系学部のみ)				
	(1)	中部学院大学	87	22.0%	
	(2)	その他の大学・専門学校	106	26.8%	
	(岐阜近県・全て医療系学部のみ)				
	(3)	名古屋大学	25	6.3%	
	(4)	星城大学	26	6.6%	
	(5)	中部大学	35	8.9%	
	(6)	豊橋創造大学	6	1.5%	
	(7)	名古屋学院大学	23	5.8%	
	(8)	日本福祉大学	31	7.8%	
(9)	藤田医科大学	23	5.8%		
(10)	その他の大学・専門学校	106	26.8%		
	計	395	100.0%		

### 3 . 入学意向アンケート調査 結果の要点

#### 1 ) 回答者の属性

回答者は全員が高校2年生(令和1年度)であり、回答者の居住地(問1)は、岐阜県が4,873人(58.5%)、愛知県が1,643人(19.7%)、滋賀県が876人(10.5%)、三重県が523人(6.3%)等となっている。岐阜県を中心に幅広く学生を募集する予定である本学部の調査対象として適切であると言える。

#### 2 ) 回答者の希望進路と志望分野

卒業後の進路(第1志望)(問2)は、2,317人(27.8%)が私立4年制大学、1,496人(17.9%)が国公立4年制大学、1,322人(15.9%)が就職、1,317人(15.8%)が専門学校を希望している。進路が未定の者も1,040人(12.5%)いる。

進学先としてのリハビリテーション分野への興味(問3)の設問では、「興味がある」が574人(6.9%)、「やや興味がある」が1,134人(13.6%)となっており、合わせて20.5%の回答者から、リハビリテーション分野への興味を示されている。

また、将来に理学療法士または作業療法士として働くことへの興味についても、「興味がある」が403人(4.8%)、「やや興味がある」が856人(10.3%)となっており、合わせて15.1%の回答者から、リハビリテーション専門職への就業の興味を示されている。

#### 3 ) 本学部への受験・入学意志

本学部への受験意向(問6)を質問したところ、回答者8,335人のうち、119人(1.4%)が「(本学部を)受験する」、276人(3.3%)が「(本学部の)受験を検討する」と回答した(合計395人、4.7%)。

問6の「受験する」及び「受験を検討する」の回答者395人のうち、178人(全体の2.1%)が「理学療法学科への入学を希望する」、68人(全体の0.8%)が「作業療法学科への入学を希望する」と回答した。

本学部の入学定員は、理学療法学科が 60 人、作業療法学科が 30 人であり、入学定員を上回る受験意向、入学意向を得ている。

なお、問 6 の「受験する」のみの回答者 119 人のみを母集団にしたクロス集計では、「理学療法学科への入学を希望する」は 77 人（全体の 0.9%）、「作業療法学科への入学を希望する」は 15 人（0.2%）の回答があった。理学療法学科については、このクロス集計でも、入学定員を上回る入学意向を得ている。

#### 4 .( 資料 ) 入学意向アンケート調査実施高校一覧

番号	都道府県	設置	高校名称	実施件数
1	岐阜県	県立	加納高等学校	80
2	岐阜県	県立	岐阜総合学園高等学校	34
3	岐阜県	県立	羽島北高等学校	33
4	岐阜県	県立	岐阜城北高等学校	12
5	岐阜県	県立	岐阜商業高等学校	313
6	岐阜県	県立	大垣商業高等学校	276
7	岐阜県	県立	大垣桜高等学校	116
8	岐阜県	県立	大垣東高等学校	78
9	岐阜県	県立	飛騨高山高等学校	192
10	岐阜県	県立	武義高等学校	172
11	岐阜県	県立	恵那高等学校	220
12	岐阜県	県立	加茂農林高等学校	192
13	岐阜県	県立	加茂高等学校	70
14	岐阜県	県立	土岐紅陵高等学校	105
15	岐阜県	県立	各務原西高等学校	307
16	岐阜県	県立	各務原高等学校	274
17	岐阜県	県立	岐阜各務野高等学校	207
18	岐阜県	県立	可児高等学校	266
19	岐阜県	県立	郡上北高等学校	95
20	岐阜県	県立	益田清風高等学校	65
21	岐阜県	県立	海津明誠高等学校	36
22	岐阜県	県立	大垣養老高等学校	231
23	岐阜県	県立	揖斐高等学校	58
24	岐阜県	県立	池田高等学校	153
25	岐阜県	県立	八百津高等学校	40
26	岐阜県	県立	東濃実業高等学校	69
27	岐阜県	市立	岐阜商業高等学校	136
28	岐阜県	私立	岐阜聖徳学園高等学校	128
29	岐阜県	私立	済美高等学校	60
30	岐阜県	私立	富田高等学校	339
31	岐阜県	私立	岐阜東高等学校	113
32	岐阜県	私立	高山西高等学校	141
33	岐阜県	私立	多治見西高等学校	195
34	岐阜県	私立	岐阜第一高等学校	58

## ( 資料 4 )

35	愛知県	県立	天白高等学校	39
36	愛知県	県立	一宮北高等学校	42
37	愛知県	県立	犬山南高等学校	27
38	愛知県	県立	江南高等学校	76
39	愛知県	県立	大府東高等学校	228
40	愛知県	県立	武豊高等学校	54
41	愛知県	私立	愛知みずほ大学瑞穂高等学校	397
42	愛知県	私立	東邦高等学校	69
43	愛知県	私立	光ヶ丘女子高等学校	75
44	愛知県	私立	修文女子高等学校	148
45	愛知県	私立	豊田大谷高等学校	188
46	愛知県	私立	誉高等学校	122
47	愛知県	私立	誠信高等学校	214
48	三重県	県立	四日市農芸高等学校	78
49	三重県	県立	白子高等学校	118
50	三重県	県立	木本高等学校	111
51	三重県	県立	紀南高等学校	72
52	三重県	私立	海星高等学校	124
53	滋賀県	県立	長浜農業高等学校	104
54	滋賀県	県立	伊香高等学校	53
55	滋賀県	私立	滋賀短期大学附属高等学校	236
56	滋賀県	私立	近江高等学校	232
57	滋賀県	私立	彦根総合高等学校	157
58	滋賀県	私立	近江兄弟社高等学校	136
59	長野県	県立	阿智高等学校	32
60	長野県	県立	赤穂高等学校	39
61	長野県	県立	下諏訪向陽高等学校	186
62	長野県	県立	長野南高等学校	114
合 計				8,335

## 5 .( 資料 ) 入学意向アンケート調査 アンケート用紙

( 次ページ以降 合計 4 ページ )

高校 2 年生の皆様

# 岐阜保健大学

令和 3 年 (2021 年) 4 月 新学部開設に向け設置構想中

リハビリテーション学部 理学療法学科、作業療法学科

(仮称・設置構想中) 4 年制

## 【入学意向についての高校生向けアンケート調査】

---

令和 3 年 (2021 年) 4 月にリハビリテーション学部 (仮称・設置構想中) を岐阜市に新たに開設する構想を持っています。このアンケート調査の中で、高校生の皆さんの進路についての率直な考えをお聞きし、構想中のリハビリテーション学部 (仮称) の教育内容に反映させたいと考えています。アンケートへのご協力を是非ともよろしくお願いします。

---

【アンケート対象者】令和元年 9 月現在、高校 2 年生の生徒

高校生の皆さんから寄せられた個人情報は、統計資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することや、勧誘や営業その他の目的に使用・転用することは一切ありません。



**回答は全てマークシートへご記入ください。**

マークシート記入要領

良い例	悪い例
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

問 1【居住地】あなたの居住地を教えてください。(あてはまるもの一つを選択)

1. 岐阜県      2. 愛知県      3. 三重県      4. 静岡県      5. 滋賀県      6. その他

問 2【卒業後の進路】高校卒業後の希望進路について教えてください。(第一志望を一つだけ選択)

1. 国公立 4 年制大学      2. 私立 4 年制大学      3. 専門職大学      4. 短期大学  
5. 専門学校      6. 就職      7. その他(留学等)      8. 未定

問 3【志望分野】進学先としてリハビリテーション分野に興味はありますか?(あてはまるもの一つを選択)

1. 興味がある      2. やや興味がある      3. どちらとも言えない      4. 興味はない

**以降の質問は、岐阜保健大学 リハビリテーション学部(仮称・設置構想中)についての説明を  
読んでからお答えください。**

問 4【理学療法士、作業療法士の認知度】理学療法士、作業療法士についてあなたが知っている内容をお答えください。(あてはまるもの全てを選択)

1. 理学療法士、作業療法士は医療の専門職で国家資格である。
2. 理学療法士、作業療法士の国家試験を受験するためには、定められた養成校で学び必要な知識・技術を身につける必要がある。
3. 理学療法士、作業療法士の養成には、4 年制大学、3 年制短期大学、専門職大学、専門学校等がある。
4. 理学療法士、作業療法士は医療機関(病院・診療所)、福祉施設(老人施設・特別養護施設)、校務(学校・保育所等)、民間企業(健康管理等)など幅広い領域の業務で活躍している。

問 5【興味】将来理学療法士、作業療法士として働くことに興味はありますか?(あてはまるもの一つを選択)

1. 興味がある      2. やや興味がある      3. どちらとも言えない      4. 興味はない



**岐阜保健大学**  
**リハビリテーション学部**  
**理学療法学科・作業療法学科(仮称・設置構想中)概要**

<b>学部の概要</b>	開設時期：令和3年（2021年）4月(予定) 修業年限：4年 入学定員：理学療法学科60名（男女共学） 作業療法学科30名（男女共学） 収容定員：360名	取得学位：学位（リハビリテーション学） 開設場所：岐阜県岐阜市東鶉2丁目92番地 取得資格：理学療法学科・理学療法士国家試験受験資格 作業療法学科・作業療法士国家試験受験資格 学納金：入学金20万円 授業料145万円
--------------	---	--

**【建学の精神】「命と向き合う心、知識、技を持った地域医療に貢献できる医療人の養成」**

**【養成する人材】**理学療法、作業療法の基礎的知識と基本的な技術、態度を備え、生命の尊厳を基盤とした倫理観と心豊かな人間性を身につけ、地域の保健・医療・福祉の向上に貢献することのできる、高い資質と理学療法、作業療法の実践能力を持ったリハビリテーション専門職を養成します。

**養成する能力**

社会に貢献するための幅広く深い教養、総合的判断力及び誠実で豊かな人間性を涵養します。  
 人間の尊厳と権利と擁護する能力と高い倫理観を基盤としたヒューマンケアの態度を育成します。  
 科学的根拠に基づき、理学療法、作業療法を計画的かつ安全に実践する能力を育成します。  
 個人や家族の健康レベルや生活、地域の特性と健康課題を評価し、より質の高い理学療法、作業療法を実践できる能力を育成します。  
 対象のあらゆる心身機能・身体構造・活動・参加に対応して支援できる能力を育成します。  
 保健医療福祉チームとの関係性を密にし、連携・協働して社会的ニーズや状況に対応した理学療法、作業療法を提供できる能力を育成します。  
 リハビリテーション専門職としての役割を果たし、社会に貢献していくために、将来にわたり自己研鑽を継続し、専門性を発展させる能力を育成します。

**学びの特徴**

積極的に学ぶ姿勢を常に探究するプログラム  
 早期体験学習として、実際の医療・福祉分野を幅広く体験することで、自ら学ぶ姿勢の支援を致します。

理学療法士・作業療法士として即戦力を養う実践的なプログラム  
 リハビリ専門職としての必要な技能修得のために、入学前の入学前教育と4年間を通じたキャリア支援を行い、現場で活躍できる実践的な知識、技術を学びます。

理学療法士・作業療法士国家試験に向けた万全のバックアップ体制  
 1年次からの基礎的な国家試験対策の導入と、国家試験を意識した授業を行う体制を用意しています。また、国家試験の内容に絞ったセミナーと個別指導を行い、国家試験合格を目指します。

**卒業後の進路**

**医療機関・病院** 病院や診療所に理学療法士、作業療法士として勤務し、失われた機能の回復と能力の改善を促し、社会復帰を支援します。

**福祉施設** 老人福祉施設や介護福祉施設で、理学療法士、作業療法士からの視点で利用者の生活を支援します。

**大学院への進学教育・研究施設** 理学療法士、作業療法士のニーズ拡大により、教育水準の充実も図られているため、教員、研究者を目指す者も増えています。

**スポーツ分野** スポーツ外傷等で故障した選手を最短復帰へと導く治療を行うほか、疲労回復や故障しにくい体づくりまで支援します。プロのスポーツチームでトレーナーとして活躍している理学療法士もいます。

大学名 学部名 学科名 (所在地)	入学金	授業料等	初年次納付金(円)
岐阜保健大学 リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科 (仮称・設置構想中) (岐阜県岐阜市東鶉)	200,000	1,450,000	1,650,000
藤田医科大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科 (愛知県豊明市沓掛町田菜ヶ窪)	300,000	1,400,000	1,700,000
中部学院大学 看護リハビリテーション学部 (岐阜県関市桐ヶ丘)	300,000	1,450,000	1,750,000
星城大学 リハビリテーション学部 (愛知県東海市富貴ノ台)	250,000	1,500,000	1,750,000

上記納付金は令和元年6月時点の各大学の公式ホームページ等の掲載情報に基づきます。  
 いずれの大学も諸会費を含みません。

**学費(他大学一部を含む)**

名古屋	岐阜	JR約20分または名鉄約28分
一宮	岐阜	JR約7分または名鉄約12分
大垣	岐阜	JR約11分
岡崎	岐阜	JR約52分
多治見	岐阜	JR約54分
米原	岐阜	JR約43分

JR岐阜駅よりバスで約18分、バス停より徒歩1分  
 乗り換え時間は含まず、最短時間を示しています。

**岐阜保健大学**

**アクセス**

- 名鉄岐阜駅前②番のりば、またはJR岐阜駅(北口)④番のりばより、岐阜バス加納南線E13[東鶉]行き乗車。「岐阜保健大学」下車(所要時間約18分)、徒歩約1分。
- 名鉄笠松駅(名鉄名古屋本線・竹鼻線)より自転車で約13分。

※バスダイヤに関しては、岐阜バスHPで確認ください。

上記の概要は全て構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

## 中部地区のリハビリテーション系大学の学納金

	県	設置	大学	学部	学科	入学金	授業料等	初年度納付金	平均(私立大学)		
									入学金	授業料等 (初年度)	初年度納付金
本学	岐阜県	私立	岐阜保健大学	リハビリテーション学部(仮称・設置構想中)	理学療法学科(仮称・設置構想中) 作業療法学科(仮称・設置構想中)	200,000	1,450,000	1,650,000	-	-	-
1	愛知県	国立	名古屋大学	医学部	保健学科	282,000	535,800	817,800	-	-	-
2	岐阜県	私立	中部学院大学	看護リハビリテーション学部	理学療法学科	300,000	1,450,000	1,750,000	263,750	1,488,750	1,752,500
3			藤田医科大学	保健衛生学部	リハビリテーション学科	300,000	1,400,000	1,700,000			
4			名古屋学院大学	リハビリテーション学部	理学療法学科	280,000	1,540,000	1,820,000			
5	愛知県		中部大学	生命健康科学部	理学療法学科 作業療法学科	280,000	1,420,000	1,700,000			
6			日本福祉大学	健康科学部	リハビリテーション学科	200,000	1,570,000	1,770,000			
7			星城大学	リハビリテーション学部	理学療法専攻 作業療法専攻	250,000	1,500,000	1,750,000			
8			豊橋創造大学	保健医療学部	理学療法学科	300,000	1,530,000	1,830,000			
9	三重県		鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部	リハビリテーション学科	200,000	1,500,000	1,700,000			

出典：各大学の公式HPより(平成31年度入学者の学納金)  
授業料は諸会費を除く。

医療従事者の需給に関する検討会 第3回 理学療法士・作業療法士需給分科会	資料1
平成31年4月5日	

資料の一部を抜粋

# 理学療法士・作業療法士の 需給推計について

## ※ 今回の需給推計の位置付けについて(案)

- ・今回の需給推計は、第2回理学療法士・作業療法士需給分科会(前回)における議論を踏まえ、一定の仮定・前提の下に厚生労働省が計算した推計結果を、たたき台として議論のために供するもの
- ・このため、本推計については今回の議論や、医療政策等の状況も踏まえ、必要な見直しを行っていくこととしてはどうか

# PT・OTの供給推計方法

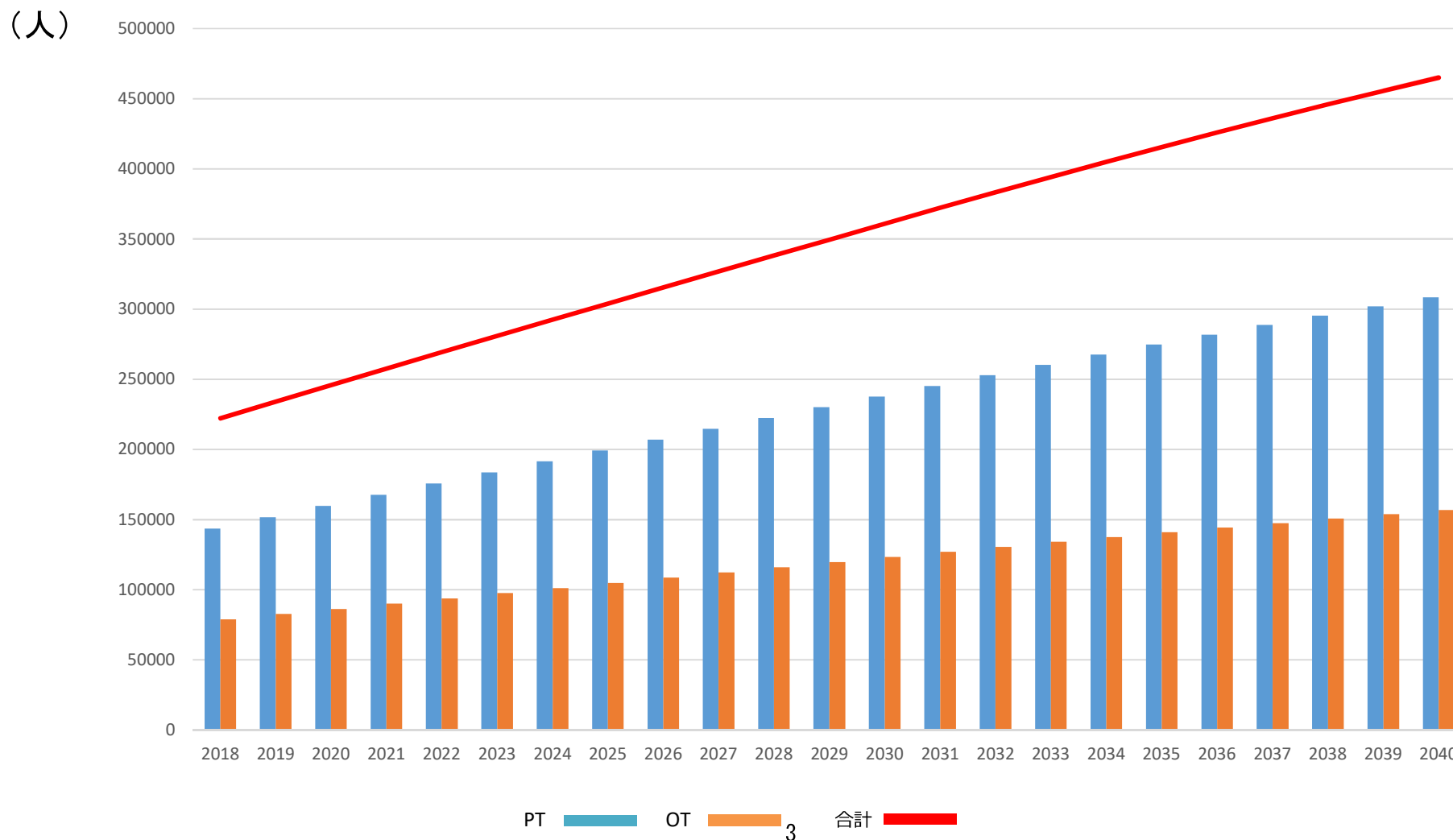
医師の供給推計の方法を参考に、次のように算出する。

$$\left( \begin{array}{l} \boxed{\text{過去の名簿登録者数}} \\ \boxed{\text{入学定員数}(\ast 1) \times \text{国試受験率}(\ast 2) \\ \quad \times \text{国試合格率} \times \text{名簿登録率}(\ast 3)} \\ \boxed{\text{入学定員数}(\ast 1) \times \text{国試受験率}(\ast 2) \\ \quad \times \text{国試不合格率} \times \text{再受験率} \times \\ \quad \text{国試合格率} \times \text{名簿登録率}(\ast 3)} \end{array} \right) \times \boxed{\text{就業率}(\ast 4)}$$

- ※1 理学療法士養成校・作業療法士養成校の現在の入学定員に基づき、今後の入学定員数を設定。
- ※2 入学後、3年又は4年後に国家試験を受験する割合。
- ※3 国家試験合格者のうち、理学療法士名簿・作業療法士名簿に登録される者の割合。
- ※4 理学療法士協会・作業療法士協会会員の就業率を利用。
- ※5 需要推計と比較するため、常勤換算従事者数への換算を検討する。

# 理学療法士・作業療法士供給数の推計結果(案)資料6)

- 今後の養成定員数を2011年～2017年の養成定員数の中央値が維持されるものとして推計(理学療法士 13,629 人、作業療法士 7,285 人)
- 性年齢階級別の勤務時間の違いを仕事量として設定して推計。



# PT・OTの需要推計方法

- PT・OTの需要推計については、「(1)医療分野」、「(2)介護分野」、「(3)その他の分野」に分けて推計する。

## (1)医療分野に従事するPT・OTの推計方法について

(基本方針)

- ✓ 入院医療(一般病床・療養病床、精神病床)、外来医療、在宅医療に分けて推計を行う。

(推計方法)

- ① 医療分野に従事するPT・OTの需要数については、将来のリハビリ需要及びリハビリ需要あたりのPT・OT数をもとに、PT・OTの需要推計を行う。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{将来の} \\ \text{リハビリ需要} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{リハビリ需要あたり} \\ \text{PT・OT数} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{将来のPT・OT} \\ \text{の需要数} \\ \hline \end{array}$$

- ② 現在のリハビリ提供体制を基準として、「リハビリ需要あたりPT・OT数」等を推計する。
- ③ 入院医療の一般病床及び療養病床については、地域医療構想と整合性を保ちながらリハビリ需要の将来推計を行う。
- ④ 地域医療構想で将来推計を行っていない医療需要(精神病床、外来医療等)については、現状分析等に基づく、一定の仮定に基づき推計を行う。



# PT・OTの需要推計

## (2) 介護分野に従事するPT・OT-1

### (2) 介護分野に従事するPT・OTの推計方法について

#### (基本方針)

- ✓ 施設・居住系サービス、在宅サービスに分けて推計を行う。

#### (推計方法)

- ① 介護分野に従事するPT・OTの需要数については、介護保険事業計画及び介護人材需給推計の方法を参考に推計を行う。
- ② 介護分野における将来の介護サービス受給者及び介護サービス受給者当たりのPT・OT数をもとに、PT・OTの需要推計を行う。

将来の介護サービスの  
受給者数



介護サービス受給者  
当たりPT・OT数



将来の  
PT・OTの需要数

- ③ 将来の介護サービス受給者及び介護サービス受給者当たりのPT・OT数については、近年の推移(変化率)を踏まえて推計を行う。

# PT・OTの需要推計

(資料6)

## (3) 在宅医療等で追加的に対応するPT・OT

(推計方法)

- 地域医療構想における、「将来(2025年)、介護施設や高齢者住宅を含めた在宅医療等で追加的に対応する患者数」29.7万人については、医療計画と介護保険事業計画の整備量等の関係を考慮し、推計を行う。

$$\text{外来で追加的に対応する患者数} \times \text{リハを要する状態にある患者の割合} \times \text{外来患者一人あたりの1か月あたりリハ単位数} = \text{将来追加的に対応する外来のPT・OT数}$$

※外来でリハを要する状態にある患者の割合は、病床機能報告(2014)のうち、療養病棟でリハを要する状態にある患者の割合とする(73.3%)。

介護分野で追加的に対応する患者数



受給者あたり  
常勤換算PT・OT数



将来追加的に対応する  
介護分野のPT・OT数

将来追加的に対応する患者数	2025年	2030年	2035年	2040年
総数	297,270	331,028	335,658	328,798
医療計画(外来)	105,768	117,779	119,427	116,986
介護計画	191,502	213,249	216,231	211,812

将来追加的に対応するPT・OT数	2025年	2040年
医療計画(外来)	14,242	15,752
介護計画	1,609	1,758

※ 2025-2040年の地域医療構想における「将来、介護施設や高齢者住宅を含めた在宅医療等で追加的に対応する患者数」

※ 2025年の介護施設・在宅医療等の追加的需要の機械的試算(患者住所地ベース)

※ 本試算は厚労省の「医療計画の見直し等に関する検討会」において示された、介護施設・在宅医療等の新たなサービス必要量(平成29年8月23日時点)に関する考え方に基づき、各市町村における、「C3未満の数」を、年齢階級別に機械的に試算したもの。

※ C3 225点(1日あたり出来高換算コスト):「医療資源投入量の基準」回復期と外来・在宅等の境界点。療養病床または在宅においても実施できる医療やリハビリテーションの密度における医療資源投入量。

# PT・OTの需要推計

## (4) その他の分野に従事するPT・OT

### その他の分野

行政分野(保健所等)、教育分野(学校養成施設、研究施設等)、福祉分野(児童福祉施設、身体障害者福祉施設等)等のPT・OT数については、下記の方法により、将来のPT・OTの需要数を推計する。

	PT※1 (平成29年度)	OT※1 (平成29年度)	推計方法
行政分野	855	244	左記の分野について、PT・OT数のこれまでの推移、今後の見通し等を勘案して具体的な推計を行う。
教育分野	2,610	1,501	
福祉分野	1,080	1,536	
その他	2,513	246	

※1 理学療法士協会・作業療法士協会の会員調査による。

※2 理学療法士協会・作業療法士協会の会員組織率も勘案する。

行政 保健所、市町村保健センター、国、都道府県、市、町、村、社会福祉協議会、身体障害者福祉協議会、地域包括支援センター等

教育 学校養成施設、研究施設、特別支援学校等

福祉 身体障害者福祉施設、児童福祉施設、精神障害者社会復帰施設、知的障害者福祉施設、障害者自立支援施設等

その他 健康産業、職業センター、リハ関連企業、一般企業、補装具作成施設、介護サービス企業、自営・起業等

※医療施設、介護施設、福祉施設、行政、教育以外のもの

# 理学療法士・作業療法士の需給推計について(案)

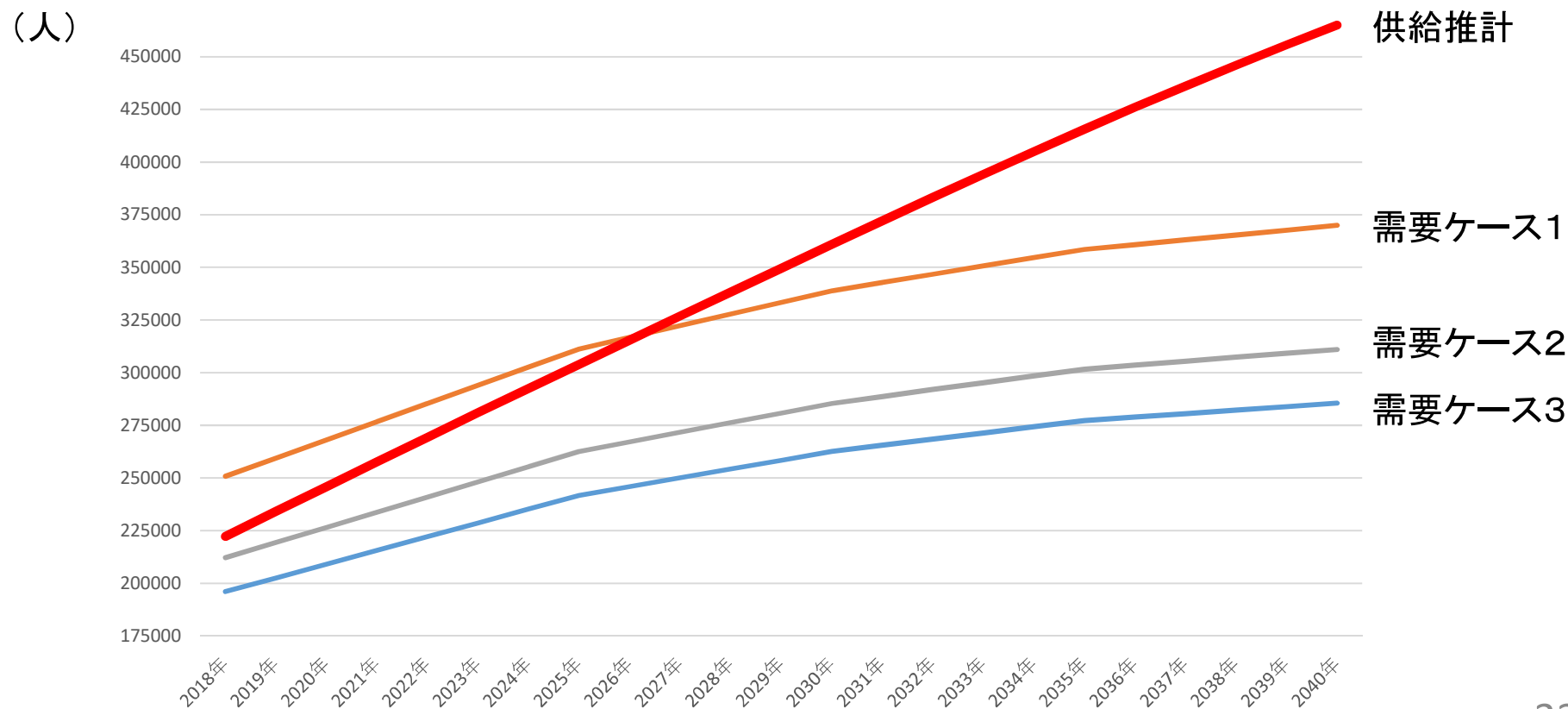
(資料6)

PT・OTの供給数は、現時点においては、需要数を上回っており、2040年頃には供給数が需要数の約1.5倍となる結果となった。

供給推計 全体の平均勤務時間と性年齢階級別の勤務時間の比(仕事率)を考慮して推計。

需要推計 ケース1、ケース2、ケース3について推計※

※ 精神科入院受療率、外来リハビリ実施率、時間外労働時間について幅を持って推計



岐阜保健大学リハビリテーション学部  
理学療法学科・作業療法学科  
(仮称・令和3年4月開設予定・設置構想中)

採用意向アンケート調査  
報告書

令和1年12月31日

## 1. 採用意向アンケート調査の概要

調査の目的	岐阜保健大学リハビリテーション学部(仮称・令和3年4月開設に向け設置構想中・入学定員90人を予定)の卒業生の人材需要(採用意向)のニーズを、病院等の事業所へのアンケートを用いて計測した。
調査期間	令和1年9月～令和1年10月
調査方法	病院等の事業所にアンケート調査用紙を郵送し調査を依頼した。回答後も郵送による返送にて回収した。
調査対象 (依頼先)	病院：568事業所(岐阜県・愛知県・三重県・静岡県) 介護老人保健施設等：77事業所(岐阜県) 整形外科診療所：50事業所(岐阜県) 訪問リハビリテーション事業所：50事業所(岐阜県)  上記の合計745事業所に調査を依頼した。
調査内容 (主な質問項目)	・事業所の基本情報 ・理学療法士、作業療法士の充足状況 ・岐阜保健大学リハビリテーション学部の卒業予定者の採用意向(人材需要)
有効回答件数	190件(回収率：25.5%)
調査実施主体	岐阜保健大学

## 2. 採用意向アンケート調査の結果

問1 貴事業所の所在地をご教示ください。(あてはまるもの一つに )	番号	選択肢	回答数	構成比
	(1)	岐阜県	118	62.1%
	(2)	愛知県	55	28.9%
	(3)	三重県	17	8.9%
	(4)	静岡県	0	0.0%
	(5)	その他	0	0.0%
		無回答	0	0.0%
		計	190	100.0%

問2 貴事業所の事業種類についてお答えください。(もっともよくあてはまるもの一つに )	番号	選択肢	回答数	構成比
	(1)	病院・診療所	148	77.9%
	(2)	介護施設	26	13.7%
	(3)	訪問看護(リハビリ)事業所	15	7.9%
	(4)	その他	1	0.5%
		無回答	0	0.0%
	計	190	100.0%	

問3 貴事業所にてこれまでに岐阜保健短期大学(現岐阜保健大学短期大学部)の卒業生の理学療法士または作業療法士を採用されたことはありますか。(あてはまるもの一つに )	番号	選択肢	回答数	構成比
	(1)	多く採用している	11	5.8%
	(2)	採用したことがある	44	23.2%
	(3)	採用したことはない	111	58.4%
	(4)	わからない	22	11.6%
		無回答	2	1.1%
	計	190	100.0%	

問4 貴事業所において、理学療法士は充足していますか。(あてはまるもの一つに )	番号	選択肢	回答数	構成比
	(1)	充足している	68	35.8%
	(2)	不足している	51	26.8%
	(3)	時期により不足することもある	59	31.1%
	(4)	わからない・該当なし	12	6.3%
		無回答	0	0.0%
	計	190	100.0%	

問4 貴事業所において、作業療法士は充足していますか。(あてはまるもの一つに )	番号	選択肢	回答数	構成比
	(1)	充足している	39	20.5%
	(2)	不足している	68	35.8%
	(3)	時期により不足することもある	46	24.2%
	(4)	わからない・該当なし	37	19.5%
		無回答	0	0.0%
	計	190	100.0%	

【理学療法学科卒業生の採用意向】 問5 前ページのような特色をもつ岐阜保健大学リハビリテーション学部理学療法学科(仮称・設置構想中)で学んだ学生を理学療法士として採用したいと思われませんか。(あてはまるもの一つに )	番号	選択肢	回答数	構成比
	(1)	採用したい	99	52.1%
	(2)	採用したいと思わない	1	0.5%
	(3)	わからない	59	31.1%
	(4)	理学療法士の採用は行っていない	31	16.3%
		無回答	0	0.0%
		計	190	100.0%

## (資料7)

【作業療法学科卒業生の採用意向】 問5 前ページのような特色をもつ岐阜保健大学リハビリテーション学部作業療法学科(仮称・設置構想中)で学んだ学生を作業療法士として採用したいと思いますか。(あてはまるもの一つに)	番号	選択肢	回答数	構成比
	(1)	採用したい	88	46.3%
	(2)	採用したいと思わない	1	0.5%
	(3)	わからない	56	29.5%
	(4)	作業療法士の採用は行っていない	44	23.2%
		無回答	1	0.5%
		計	190	100.0%

【理学療法学科卒業生の採用可能人数】 問6 【問5で「1.採用したい」と答えた事業所さまのみ】理学療法士採用の際の採用可能人数(予定)を教えてください。(あてはまるもの一つに)	番号	選択肢	回答数	構成比	採用人数
	(1)	1名	61	61.6%	61人
	(2)	2名	21	21.2%	42人
	(3)	3名	9	9.1%	27人
	(4)	4名	0	0.0%	0人
	(5)	5名以上	7	7.1%	35人
		無回答	1	1.0%	0人
		計	99	100.0%	165人

【作業療法学科卒業生の採用可能人数】 問6 【問5で「1.採用したい」と答えた事業所さまのみ】作業療法士採用の際の採用可能人数(予定)を教えてください。(あてはまるもの一つに)	番号	選択肢	回答数	構成比	採用人数
	(1)	1名	54	61.4%	54人
	(2)	2名	17	19.3%	34人
	(3)	3名	7	8.0%	21人
	(4)	4名	0	0.0%	0人
	(5)	5名以上	8	9.1%	40人
		無回答	2	2.3%	0人
		計	88	100.0%	149人

問7 貴事業所における理学療法士、作業療法士の学校種別の採用状況について、お答えください。(あてはまるもの一つに)	番号	選択肢	回答数	構成比
	(1)	4年制大学卒の理学療法士、作業療法士が採用の中心である。	17	8.9%
	(2)	短期大学卒・専門学校卒の理学療法士、作業療法士が採用の中心である。	50	26.3%
	(3)	4年制大学、短期大学、専門学校から満遍なく採用している。	112	58.9%
		無回答	11	5.8%
	計	190	100.0%	



### 3 . 採用意向アンケート調査 結果の要点

#### 1 ) 回答事業所の属性

問 1、問 2 の回答結果によると、回答のあった 190 事業所の所在地は、岐阜県が 118 事業所 ( 62.1% )、愛知県が 55 事業所 ( 28.9% )、三重県が 17 事業所 ( 8.9% ) となった。

業種は、148 事業所 ( 77.9% ) が病院、26 事業所 ( 13.7% ) が介護施設、15 事業所 ( 7.9% ) が訪問看護 ( リハビリ ) 事業所という構成比率となった。岐阜県を中心とした理学療法士及び作業療法士の採用意向を測定する本学部の人材需要調査の対象として適切であると言える。

#### 2 ) 岐阜保健大学短期大学部 ( 旧岐阜保健短期大学 ) の卒業生の採用実績

問 3 において、岐阜保健大学短期大学部 ( 旧岐阜保健短期大学 ) リハビリテーション学科の卒業生の採用実績を質問したところ、190 事業所のうち 55 事業所 ( 28.9% ) より、「多く採用している」または「採用したことがある」との回答を得た。短期大学部において養成した理学療法士、作業療法士の地域での採用実績が示されていると言える。

#### 3 ) 理学療法士・作業療法士の充足状況

問 4 において、理学療法士・作業療法士の充足状況を質問したところ、理学療法士については 110 事業所 ( 57.9% ) より「不足している」または「時期により不足することもある」、作業療法士については 114 事業所 ( 60.0% ) より「不足している」または「時期により不足することもある」の回答を得た。過半数以上の事業所において、理学療法士及び作業療法士は、必ずしも充足しているとは言えないとの結果となった。

#### 4 ) 本学部の卒業予定者の採用意向

問 5 において、本学部の卒業予定者の採用意向を質問したところ、理学療法学科については、99 事業所 ( 52.1% ) より「( 理学療法士として ) 採用したい」との回答を得た。作業療法学科については、88 事業所 ( 46.3% ) より「( 作業療法士として ) 採用したい」との回答を得た。

さらに問 6 において、「採用したい」と回答した 99 事業所 ( 理学療法士の採用 )、88 事業所 ( 作業療法士の採用 ) に対し、採用可能人数を質問したところ、回答事業所に採用可能人数を乗じた採用可能人数の合計は、理学療法学科において 165 人、作業療法学科において 149 人となった。本学部の入学定員は、理学療法学科が 60 人、作業療法学科が 30 人であり、両学科ともに入学定員を十分に上回る採用意向を得た結果となった。

## 5) 事業種ごとの採用意向

問2(事業所の業種)と問5(採用意向)のクロス集計の結果は以下の通りである。

## 理学療法学科のクロス集計

問2(事業所の業種)と問5(採用意向)のクロス集計	(1)採用したい		(2)採用したいと思わない		(3)わからない		(4)理学療法士の採用は行っていない		無回答		総計	
	事業所	構成比	事業所	構成比	事業所	構成比	事業所	構成比	事業所	構成比	事業所	構成比
(1)病院・診療所	80	80.8%	0	0.0%	41	69.5%	27	87.1%	0	0.0%	148	77.9%
(2)介護施設	16	16.2%	0	0.0%	7	11.9%	3	9.7%	0	0.0%	26	13.7%
(3)訪問看護(リハビリ)事業所	3	3.0%	1	100.0%	10	16.9%	1	3.2%	0	0.0%	15	7.9%
(4)その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
合計	99	100.0%	1	100.0%	59	100.0%	31	100.0%	0	100.0%	190	100.0%

## 作業療法学科のクロス集計

問2(事業所の業種)と問5(採用意向)のクロス集計	(1)採用したい		(2)採用したいと思わない		(3)わからない		(4)作業療法士の採用は行っていない		無回答		総計	
	事業所	構成比	事業所	構成比	事業所	構成比	事業所	構成比	事業所	構成比	事業所	構成比
(1)病院・診療所	71	80.7%	0	0.0%	38	67.9%	38	86.4%	1	100.0%	148	77.9%
(2)介護施設	15	17.0%	0	0.0%	7	12.5%	4	9.1%	0	0.0%	26	13.7%
(3)訪問看護(リハビリ)事業所	2	2.3%	1	100.0%	10	17.9%	2	4.5%	0	0.0%	15	7.9%
(4)その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
合計	88	100.0%	1	100.0%	56	100.0%	44	100.0%	1	100.0%	190	100.0%

上記のクロス集計から、理学療法学科、作業療法学科ともに、病院・診療所からの採用意向が最も多く示されているが、一方で、介護施設や訪問看護(リハビリ)事業所からも採用意向が寄せられており、病院・診療所だけではない理学療法士・作業療法士の幅広い職域と多様な業種からの人材需要が示されていると言える。

## 4. 採用意向アンケート調査 アンケート用紙

(次ページ以降 合計4ページ)

理学療法士  
作業療法士  
採用ご担当者さま

令和元年 10 月

岐阜保健大学リハビリテーション学部（仮称・設置構想中）に関する採用アンケート調査

岐阜保健大学  
学長 河田美紀

採用ご担当者様

平素は、岐阜保健大学・短期大学部及びその卒業生に多大のご厚誼を賜りますこと、心より感謝申し上げます。

岐阜保健大学短期大学部（旧岐阜保健短期大学）では、これまで理学療法士、作業療法士を養成して参りました。このたび、より高度な医療専門職の養成を行うため、短期大学部を改組する形で、4 年制大学の学部である岐阜保健大学リハビリテーション学部（理学療法学科・作業療法学科）（すべて仮称・設置構想中）を、令和 3 年（2021 年）4 月に新たに開設する構想を進めております。

つきましては、理学療法・作業療法に在職されている施設の皆様から、様々なご意見を頂戴し、今後の指針と参考にさせていただきたいと考えましたので、設置構想中の岐阜保健大学リハビリテーション学部（仮称）についてのアンケートにご協力をいただきますよう、謹んでお願い申し上げます。なおこの調査は無記名で行い、回答者や事業所様の個人情報を守ること、情報の転用等を一切行わないことを強くお約束いたします。

【アンケートのご回答とご返送について】

投函締切：2019 年 10 月 31 日（木）

提出方法：アンケートにご協力いただける場合は、アンケート用紙を添付の封筒に入れて、ご返送ください。（切手は不要です）

連絡先：岐阜保健大学 リハビリテーション学部 設置準備室 担当：中野・宇佐美

〒500-8281 岐阜県岐阜市東鶉 2-92

Tel：058-274-5001

本アンケートは、【理学療法士及び作業療法士の採用ご担当者さま】にてご回答いただきますようお願いいたします。

(アンケートは、以下の説明を読んでからお答えください)

岐阜保健大学	
リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科(全て仮称・設置構想中)の概要	
学部の概要	<p>開設時期: 令和3年(2021年)4月(予定)      取得学位: 学士(リハビリテーション学)</p> <p>修業年限: 4年      開設場所: 岐阜県岐阜市東鶉2丁目92番地</p> <p>入学定員: 理学療法学科 60名(男女共学)      取得資格: (理学療法学科) 理学療法士国家試験受験資格</p> <p style="padding-left: 100px;">作業療法学科 30名(男女共学)      (作業療法学科) 作業療法士国家試験受験資格</p> <p>収容定員: 360名      学納金 : 入学金20万円 授業料145万円</p>
養成する人材	<p><b>【建学の精神】</b> 「命と向き合う心、知識、技を持った地域医療に貢献できる医療人の養成」</p> <p><b>【養成する人材】</b> 理学療法、作業療法の基礎的知識と基本的な技術、態度を備え、生命の尊厳を基盤とした倫理観と心豊かな人間性を身につけ、地域の保健・医療・福祉の向上に貢献することのできる、高い資質と理学療法、作業療法の実践能力を持ったリハビリテーション専門職を養成します。</p>
育成する能力	<p>社会に貢献するための幅広く深い教養、総合的判断力及び誠実で豊かな人間性を涵養します。</p> <p>人間の尊厳と権利と擁護する能力と高い倫理観を基盤としたヒューマンケアの態度を育成します。</p> <p>科学的根拠に基づき、理学療法、作業療法を計画的かつ安全に実践する能力を育成します。</p> <p>個人や家族の健康レベルや生活、地域の特性と健康課題を評価し、より質の高い理学療法、作業療法を実践できる能力を育成します。</p> <p>対象のあらゆる心身機能・身体構造・活動・参加に対応して支援できる能力を育成します。</p> <p>保健医療福祉チームとの関係性を密にし、連携・協働して社会的ニーズや状況に対応した理学療法、作業療法を提供できる能力を育成します。</p> <p>リハビリテーション専門職としての役割を果たし、社会に貢献していくために、将来にわたり自己研鑽を継続し、専門性を発展させる能力を育成します。</p>
学びの特徴	<p><b>積極的に学ぶ姿勢を常に探究するプログラム</b> 早期体験学習として、実際の医療・福祉分野を幅広く体験することで、自ら学ぶ姿勢の支援を致します。</p> <p><b>理学療法士・作業療法士として即戦力を養う実践的なプログラム</b> リハビリ専門職としての必要な技能修得のために、入学前の入学前教育と4年間を通じたキャリア支援を行い、現場で活躍できる実践的な知識、技術を学びます。</p> <p><b>理学療法士・作業療法士国家試験に向けた万全のバックアップ体制</b> 1年次からの基礎的な国家試験対策の導入と、国家試験を意識した授業を行う体制を用意しています。また、国家試験の内容に絞ったセミナーと個別指導を行い、国家試験合格を目指します。</p>
卒業後の進路	<p><b>医療機関・病院</b>      病院や診療所に理学療法士、作業療法士として勤務し、失われた機能の回復と能力の改善を促し、社会復帰を支援します。</p> <p><b>福祉施設</b>      老人福祉施設や介護福祉施設で、理学療法士、作業療法士からの視点で利用者の生活を支援します。</p> <p><b>大学院への進学 教育・研究施設</b>      理学療法士、作業療法士のニーズ拡大により、教育水準の充実も図られているため、教員、研究者を目指す者も増えています。</p> <p><b>スポーツ分野</b>      スポーツ外傷等で故障した選手を最短復帰へと導く治療を行うほか、疲労回復や故障しにくい体づくりまで支援します。プロのスポーツチームでトレーナーとして活躍している理学療法士もいます。</p>

上記の学部学科の開設計画は全て設置構想中の予定のため、今後変更となる可能性があります。



【アクセス】	
住所: 岐阜市東鶉2丁目92番地	
(JR または 名鉄岐阜駅までの時間)	
名古屋	岐阜: JR 約 20 分 または 名鉄 約 28 分
一宮	岐阜: JR 約 7 分 または 名鉄 約 12 分
大垣	岐阜: JR 約 11 分
岡崎	岐阜: JR 約 52 分
多治見	岐阜: JR 約 54 分
米原	岐阜: JR 約 43 分
(JR 岐阜駅から大学までの時間)	
JR 岐阜駅よりバスで約 18 分、バス停より徒歩 1 分	

問1. 貴事業所の所在地をご教示ください。(あてはまるもの一つに )

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1. 岐阜県 | 2. 愛知県 | 3. 三重県 |
| 4. 静岡県 | 5. その他 |        |

問2. 貴事業所の事業種類についてお答えください。(もっともよくあてはまるもの一つに )

- |                  |         |
|------------------|---------|
| 1. 病院・診療所        | 2. 介護施設 |
| 3. 訪問看護(リハビリ)事業所 | 4. その他  |

問3. 貴事業所にてこれまでに岐阜保健短期大学(現岐阜保健大学短期大学部)の卒業生の理学療法士または作業療法士を採用されたことはありますか。(あてはまるもの一つに )

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 多く採用している  | 2. 採用したことがある |
| 3. 採用したことはない | 4. わからない     |

問4. 貴事業所において、理学療法士および作業療法士は充足していますか。(それぞれあてはまるもの一つに )

理学療法士の充足状況

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1. 充足している         | 2. 不足している     |
| 3. 時期により不足することもある | 4. わからない・該当なし |

作業療法士の充足状況

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1. 充足している         | 2. 不足している     |
| 3. 時期により不足することもある | 4. わからない・該当なし |

問5. 前ページのような特色をもつ岐阜保健大学リハビリテーション学部理学療法学科、作業療法学科(全て仮称・設置構想中)で学んだ学生を理学療法士または作業療法士として採用したいと思われませんか。(あてはまるもの一つに )

理学療法士の採用

- |          |                    |
|----------|--------------------|
| 1. 採用したい | 2. 採用したいと思わない      |
| 3. わからない | 4. 理学療法士の採用は行っていない |

作業療法士の採用

- |          |                    |
|----------|--------------------|
| 1. 採用したい | 2. 採用したいと思わない      |
| 3. わからない | 4. 作業療法士の採用は行っていない |

問6. 【問5で「1. 採用したい」と答えた事業所さまのみ】採用の際の採用可能人数（予定）を教えてください。（岐阜保健大学リハビリテーション学部（仮称・設置構想中）の第一期生の卒業生は、2025年3月に卒業予定ですので、現時点での想定で結構です）（あてはまるもの一つに ）

理学療法士の採用

1. 1名          2. 2名          3. 3名          4. 4名          5. 5名以上

作業療法士の採用

1. 1名          2. 2名          3. 3名          4. 4名          5. 5名以上

問7. 貴事業所における理学療法士、作業療法士の学校種別の採用状況について、お答えください。（あてはまるもの一つに ）

1. 4年制大学卒の理学療法士、作業療法士が採用の中心である。
2. 短期大学卒・専門学校卒の理学療法士、作業療法士が採用の中心である。
3. 4年制大学、短期大学、専門学校から満遍なく採用している。

問8. 新たに開設予定である岐阜保健大学リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科（全て仮称・設置構想中）について、ご意見・ご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。